

倉敷市立自然史博物館報

27

(平成29年度)



倉敷市立自然史博物館

平成30年7月1日発行

目次

I. 展示事業

1	常設展	1
2	特別展	1
3	特別陳列	2
4	特別展示	2
5	ミニ水族館の展示	2
6	常設展示の更改	2
7	恐竜と季節の植物のぬり絵	3
8	自然情報掲示板の設置	3
9	倉敷まちかど博物館	3
10	ボランティアの活動	3
11	他館への展示協力	3

II. 調査研究事業

1	機関研究	3
2	分野別研究テーマ	3
3	研究業績などの公表	4
4	査読	7

III. 資料収集保管事業

1	寄贈標本	8
2	館員による採集	10
3	受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳	10
4	二次資料	10
5	登録済み資料点数	11
6	標本整理ボランティアの活動	12
7	博物館のお宝探検	12
8	館外者による収蔵資料の利用	12
9	収蔵資料を活用した業績	12
10	収蔵庫の充実	13
11	収蔵庫の燻蒸	13

IV. 教育普及事業

1	自然観察会	13
2	博物館講座	13
3	自然の標本なんでも相談会	13

4	植物教室	13
5	動物研究会	14
6	むしむし探検隊	14
7	地学教室	14
8	自然素材を使った手作り教室	14
9	折り紙教室	14
10	スライド映写会	14
11	昆虫標本作り体験教室	14
12	ワークショップ	14
13	第17回 11月3日は自然史博物館まつり	14
14	出版物	14
15	レファレンス	14
16	ガイダンス	15
17	博物館実習生等の受け入れ	15
18	講師派遣	15
19	マスコミ報道	16
20	学校用標本の貸出	18
21	倉敷市立自然史博物館友の会の活動	18

V. 庶務

1	沿革	20
2	各室現有面積	20
3	組織	20
4	委員・役員委嘱	21
5	会議等派遣	22
6	広報活動	23
7	職員の派遣研修参加	23
8	視察来館	23
9	無料開放	23
10	予算・決算	23
11	年間利用者数	24

倉敷市立自然史博物館条例
倉敷市立自然史博物館条例施行規則
利用案内

I. 展示事業

1 常設展

[エントランスホール]

動くナウマンゾウの母子，倉敷の化石動物。

[第1展示室：岡山県のなりたち] 展示数約270点

地球と生物の歴史，岡山県の地史，岡山県の地形，ナウマンゾウ骨格模型，倉敷市の地質と岩石，岡山県のスカルン，岡山県の岩石と鉱物，倉敷周辺の平野のなりたち。

[第2展示室：岡山県のいきもの] 展示数約1,000点

岡山県の地形・地質と気候，岡山県の自然といきもの，阿哲の石灰岩台地，自然は変わる，ビデオコーナー。

[第3展示室：昆虫の世界] 展示数約9,200点

体のしくみ，昆虫の歴史と分類，色と形のふしぎ，世界の昆虫，昆虫の生活，当館の昆虫コレクション，話題の虫。

[第4展示室：植物の世界] 展示数約1,000点

生物の五界説，植物のかたち，植物のなかま，植物の分布，岡山県の植物，倉敷市の植物，くらしの中の植物，自由展示。

2 特別展

(1) 実施概要

標題：第26回特別展「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」（「倉敷市」50周年記念事業）

会期：平成29年7月1日（土）～9月10日（日）

会場：特別展示室，地階講義室

主催：倉敷市立自然史博物館

共催：倉敷市立自然史博物館友の会

観覧料：通常観覧料

(2) オープニングセレモニー

日時：平成29年7月1日（土）9時～9時15分

会場：倉敷市立自然史博物館1階・倉敷市観光休憩所

出席者：市民文教委員（斎藤武次郎議員，新垣敦子議員，田口明子議員），井上正義教育長，川原伸次生涯学習部長，榎本敬友の会会長

(3) 展示・イベント内容

[チョウの館（特別展示室会場）]

当館が収蔵する世界のチョウ約29,000点を展示。標本保護のため，展示室の照明を落とし，来場者に懐中電灯を持って観覧してもらった。

ア りん粉観察：マイクロスコップでチョウの羽を観察。

イ お宝選抜チョウ選挙：来場者の投票により博物館一番のお宝チョウを選出。投票期間：7月1日～8月15日，有効投票総数：1,459票。

集計結果

第1位	モンシロチョウ黒化型（写真1）	289票
第1位	ツバメシジミ雌雄型（写真2）	289票
第3位	アオネアゲハ マチシリ島亜種 副模式標本	206票
第3位	オオルリアゲハ 後翅異常個体	206票
第5位	唯一の島根県産ヒメシロチョウ	134票
第6位	ホッポアゲハ後翅異常個体	88票
第7位	天然記念物 ダイセツタカネヒカゲ	78票
第8位	天然記念物 ヒメチャマダラセセリ	77票
第9位	絶滅した岡山県産シークダハ	76票
第10位	アサマシジミ 沿海地方亜種 副模式標本	16票



写真1 モンシロチョウ黒化型

2011年，鏡野町の富小学校で飼育されていた幼虫から羽化した。斑紋形成に関わる遺伝子の異常が原因とみられる。記録に残るモンシロチョウの黒化型で現存する標本はこの個体が唯一。



写真2 ツバメシジミ雌雄型

2001年，新見市で採集されたもの。ほぼ中央から左が雄，右が雌の特徴をもつ個体。昆虫の雌雄型はまれに見つかることがあるが，その確率は10万分の1ともいわれる。

[昆虫の森（講義室会場）]

屋内に約96㎡の網室を設営，常時数百匹の野生昆虫と自由に触れ合えるようにした。

ア チョウの絵展示：来場者にA5サイズ用の紙に自由にチョウの絵を描いてもらい，会場壁面に展示した。2,013枚の絵の提供があり，提供者にはカザリシロチョウのオリジナル絵はがきをプレゼントした。

イ 昆虫の羽しおりづくり：本物の昆虫の羽を材料にオリジナルしおりを作ってもらった（材料費100円）。

ウ 昆虫缶バッジづくり：昆虫写真や絵をはめてオリジナルバッジ，磁石，キーホルダーを作ってもらった（材料費100～300円）。

エ 昆虫標本作り体験：持参された冷凍昆虫や「昆虫の森」で死んだ昆虫を材料に標本作り体験をしてもらった。

(4) 臨時職員：会場係員として雇用した。上赤菜都美，佐藤未紗，鈴木那加，中村百花，橋本響，久富崇弘，藤井春菜，松本光平。（五十音順）

(5) 協力者：会場係や展示昆虫の提供等でご協力いただいた。磯野裕昭，稲神那代，入江和喜，植松志保，榎本敬，岡野貴司，片山久，木下延子，木村浩子，小橋理絵子，榎原久美子，佐々木良一，島岡浩恵，末長晴輝，裾分由美子，橋本恵子，橋本真由子，藤原満徳，松村真佐子，溝手啓子，三宅誠治，むしむし探検隊，森下裕子，安田剛長。延べ250名。（五十音順）

(6) 会期中の観覧者数：20,004名。

(3) 会期中の成羽美術館観覧者数：19,791名。

3 特別陳列

- (1) 「第24回しぜんしくらしき賞作品展」1月15日～4月2日，特別展示室，共催：倉敷市立自然史博物館友の会，出品点数32点。
- (2) 「鳴く虫サロン」9月16日～9月24日，講義室，出品者：今岡正，岡本忠，奥島雄一，木村和義，末長晴輝，難波稔明。（五十音順）
- (3) 「新着資料展2017」9月30日～1月8日，特別展示室，展示物：ソウシチョウ本剥製，ノレンコウモリ本剥製，鹿児島県菱刈鉱山の金鉱石，中国の水銀鉱石（辰砂），小島裕子植物コレクションの一部，岡山県新産・希産植物標本など。
- (4) 「第25回しぜんしくらしき賞作品展」1月14日～4月1日，特別展示室，共催：倉敷市立自然史博物館友の会，出品点数34点。

4 特別展示

(1) 実施概要

標題：高梁川流域連携中枢都市圏事業 夏の企画展「ティラノが成羽にやってきた！ー化石は太古の生き物図鑑」

内容：林原コレクションの中からティラノサウルス・恐竜の大たい骨・大型アンモナイト・プテラノドン・トリケラトプス頭骨など多数の化石を展示した。また，会期中成羽美術館および自然史博物館受付で両館を観覧するとおもちゃがもらえる引換券を発行した。

会期：平成29年7月8日（土）～9月3日（日）

会場：高梁市成羽美術館

主催：高梁市教育委員会，高梁市成羽美術館，倉敷市教育委員会，倉敷市立自然史博物館，RSK山陽放送

協力：岡山県立大学デザイン学部造形デザイン学科

(2) 関連イベント

ア オープニングスペシャルトーク「恐竜博士もやってきた！」：7月8日（土）11時～，13時～，14時～（各回約30分），講師：石垣忍岡山理科大学生物地球学部教授。

イ ミュージアムグッズ発売記念イベント「NARIWA FLORA with D」：7月15日（土）13時～14時30分，案内倉敷市立自然史博物館学芸員。

ウ 「ティラノサウルスを描こう！」：8月5日（土）10時～12時，案内高梁市成羽美術館スタッフ・倉敷市立自然史博物館学芸員。20名。

エ 成羽化石産地見学会（採集体験）：8月19日（土）10時～15時，案内倉敷市立自然史博物館学芸員。15名（うち中学生以下10名）。



5 ミニ水族館の展示（敬称略）

(1) 昆虫の水槽（追加分）

4月11日 ヤンマ科幼虫，サナエトンボ科幼虫，コニヤンマ幼虫，ミズカマキリ，エビ類，小魚 内海賢二。

5月1日 オオアメンボ 奥島雄一。

6月17日 アメンボ 小田敦子。

7月4日 オオコオイムシ 奥島雄一。

7月27日 コオイムシ 岡本忠。

8月22日 コオイムシ 千田裕優。

9月10日 クロゲンゴロウ，ガムシ，タイコウチ，オオコオイムシ，ミズカマキリ

9月13日 ゲンゴロウ，コガタノゲンゴロウ 谷口晃一。

9月23日 ガムシ 池田綱介。

10月9日 小魚 小川有一。

10月22日 ガムシ，ヒメゲンゴロウ，オオコオイムシ，マツモムシ，ヤンマ科幼虫，トンボ科幼虫 奥島雄一。

10月30日 小魚 小川有一。

11月14日 エビ類 小川有一。

11月29日 小魚，エビ類 小川有一。

(2) 植物（追加分）

10月26日 セキショウモ，クロモ，ササバモ，オオカナダモ，コカナダモ 館員。

6 常設展示の更改

(1) 第3展示室「当館の昆虫コレクション」随時更新。

「話題の虫」50年前の標本，ダイセツタカネヒカゲ，黒いモンシロチョウ，アオゴミムシ，ムネアカアハラビロカマキリ，ウスタビガ雌雄型を紹介。

(2) 第4展示室「植物の自由展示」

3月14日～6月23日 「岡山県のフクロソウ科」。

5月7日～6月23日 「日本遺産『一輪の綿花から始まる倉敷物語』登録記念展示」。

6月23日～12月15日 「チョウのくる花」。

12月16日～3月1日 「干支(イヌ)にちなんだ植物」。

3月2日～継続「岡山県と韓国の両方に分布する植物」.

- (3) 情報検索用パソコン「岡山植物図鑑」を倉敷芸術科学大学との連携により更新した。(岡山県産野生植物の全種約2,800種を紹介)

7 恐竜と季節の植物のぬり絵

- (1) 恐竜：ティラノサウルス，トリケラトプス，プテラノドン

- (2) 季節の植物：ゲンゲ（4月），アケビ，ミツバアケビ（5月），ナワシロイチゴ，ノイバラ（6月），ツユクサ（7月），メマツヨイグサ（8月），ミズアオイ（9月），イシミカワ（10月），コナラ（11月），ナルトリイバラ（12月），ホトケノザ（1月），ナズナ（2月），オオイヌノフグリ（3月）

8 自然情報掲示板の設置

1階「学習コーナー」に設置し，最新の自然の話題などを紹介している．随時更新．

9 倉敷まちかど博物館

財団法人自治総合センターの「平成25年度コミュニティ一助成事業」の助成を受けて，当館が所蔵する岩石，鉱物，化石，植物，昆虫，動物などの本物の標本を，移動可能な

展示ユニット計60台に仕立てて，公共性の高い施設，または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている．平成29年度新規貸出実績（継続含まず，更新含む）：延べ13施設，41台．設置先：倉敷市立西小学校，倉敷市立下津井西小学校，倉敷市立水島図書館，倉敷市立児島図書館，倉敷市立船穂図書館，ライフパーク倉敷市民学習センター，倉敷市少年自然の家，倉敷児童館，児島児童館，豊洲っ子児童クラブ，倉敷昆虫館，倉敷駅前観光案内所，倉敷市観光休憩所．

10 ボランティアの活動

- (1) ミニ水族館の管理（敬称略）

倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科：山野ひとみ，松井真宜，三ツ井博晃，松本夏美，江木健人，延べ17名．

- (2) ミニ水族館の動物の飼育（敬称略）

山崎法子，延べ39回．

- (3) 昆虫ボランティアガイドの活動（敬称略）

藤沢悦治，延べ37回．

11 他館への展示協力

7月14日～9月3日 豊橋市自然史博物館 第32回特別企画展「武器甲虫ークワガタ，カブトの進化を探る」にカブトムシ雌雄型標本を提供．

II. 調査研究事業

1 機関研究

- (1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究（調査日）

[地学分野：武智泰史] 4月9日，5月14日，10月22日，11月26日．

[植物分野：狩山俊悟] 4月9日，5月9日，14日，29日，6月3日，7月15日，8月19日，9月10日，10月3日，22日，11月22日，26日．

[昆虫分野：奥島雄一] 4月9日，5月9日，14日，6月4日，27日，28日，8月31日，10月2日，22日，11月22日，26日，12月17日，2月15日，21日．

[動物分野：江田伸司] 4月9日，23日，5月9日，14日，27日，28日，6月1日，7月1日，16日，8月19日，10月3日，22日，11月22日，26日，28日，12月10日．

- (2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究（調査日）

[植物分野：狩山俊悟] 4月8日，23日，5月20日，6月6日，7月16日，8月12日，9月24日，10月26日，11月14日，15日，1月6日，2月4日．

[昆虫分野：奥島雄一] 4月8日，4月23日，6月2日，18日，10月5日，7日，11月19日．

[動物分野：江田伸司] 4月2日，12月3日，12月10日，1月13日，3月4日．

2 分野別研究テーマ

- (1) 地学：武智泰史

ア 地質鉱物の研究．

- (2) 植物：狩山俊悟

ア 岡山県産植物の分類，地理学的研究．

イ 宇野確雄植物コレクションの分類学的研究．

ウ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援．

エ 岡山県高梁市の植物相調査．

- (3) 昆虫：奥島雄一

ア 岡山県の昆虫調査．

イ ジョウカイボン科(コウチュウ目)の分類学的研究

ウ 自然史資料の収集と活用について．

- (4) 動物：江田伸司

ア 岡山県の動物調査研究．

3 研究業績などの公表

(1) 博物館講座「学芸員研究紹介」

「縄地鉦山の鉦石について」演者：武智泰史 1月14日 10名.

「岡山県に産するブドウ科の植物」演者：狩山俊悟 2月18日 37名.

「岡山県のブッポウソウについて」演者：江田伸司 3月10日 20名.

「分類の研究と新種記載の仕方ー台湾産ジョウカイボン科の例ー」演者：奥島雄一 3月18日 65名.

(2) 当館より発行された刊行物

倉敷市立自然史博物館研究報告第33号, 3月25日, 550部発行, A4判, 50ページ, 本文一部カラー, 寄贈交換先へ配布するほか, 1部1,134円(税込)で有料頒布. 収録報文(*は館外研究者)

[論文]

菅波洋平*, 岡山県岡山市の土壌から採集されたクモ類, 1-4.

山内健生*・奥島雄一, 岡山県におけるシラミバエ科2種の記録, 5-6.

瀬島翔馬*, 岡山県のアブラムシ科(半翅目, アブラムシ上科), 7-20.

瀬島翔馬*, 岡山県のコナジラミ科(半翅目, コナジラミ上科), 21-25.

藪内喜人*, 梅丸山(岡山県笠岡市)の鳥類相, 27-30.

[ノート]

狩山俊悟, 岡山県植物誌資料(17) 岡山県のブドウ科, 31-48.

[短報]

奥島雄一, 岡山県で発見された2種の特定外来生物指定種のアリ(ハチ目, アリ科), 49-50.

(3) 当館以外の刊行物への寄稿

ア 武智泰史：地学担当(5件)

ナウマンゾウ, 自然のおはなし. 山陽新聞. (6月25日)

帯江鉦山(帯江銅山), 自然のおはなし. 山陽新聞. (10月22日)

倉敷市北部のタングステン鉦山, 自然のおはなし. 山陽新聞. (2月25日)

自然観察会(2017年11月26日)「おかやま自然探訪56」報告.

倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (313):1. (1月13日)

太戸の滝付近の地質. しぜんしくらしき, (104):18. (3月1日)

イ 狩山俊悟：植物担当(56件)

第265回シダ観察会ー浅口市(旧鴨方町, 旧金光町)ー(2017年2月4日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (304):4. (4月8日)

ミニ展示「岡山県のカワソウ科」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (304):7. (4月8日)

博物館講座「岡山県に産するフクロソウ科の植物ー学芸員研究紹介ー」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (304):7. (4月8日)

植物教室「探鳥コースの樹木をみる会」ー第4回ー. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (304):7. (4月8日)

フクロソウ科の植物, 岡山県に2属13種自生, 自然のおはなし(107). 山陽新聞(さん太タイムズ). (4月23日)

今年の夏山合宿は, 「憧れの槍ヶ岳へ」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (305):12. (5月13日)

第266回シダ観察会ー井原市(旧美星町)ー(2017年3月21日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (305):9. (5月13日)

出雲大社と日御碕(島根県出雲市)の植物. しぜんしくらしき, (101):16. (6月1日)

笠岡市真鍋島で観察した海岸性植物とホルトノキ. しぜんしくらしき, (101):17-18. (6月1日)

第267回シダ観察会ー和気町(旧佐伯町)ー(2017年4月17日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306):4. (6月10日)

「しぜんしくらしき101号」を発行. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306):7. (6月10日)

「日本遺産」認定を祝してミニ展示. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306):7. (6月10日)

職場体験を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306):9. (6月10日)

共著(狩山俊悟・小島裕子・田淵正和・木下延子・片山久・溝手啓子・裾分由美子・榎本敬・山下純・片岡博行・國忠高広・島岡浩恵編). 岡山県赤磐市植物目録2017. 123pp. (6月15日)

自由展示コーナーを「チョウのくる花」に更新. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307):11. (7月8日)

第268回シダ観察会ー美作町(旧中央町)ー(2017年5月15日)報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307):6. (7月8日)

『岡山県赤磐市植物目録2017』出版のお知らせ. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307):7. (7月8日)

共著(藤井伸二・勝山輝男・狩山俊悟・牧雅之). コウガイセキショウモの野生化個体群を神奈川県と岡山県に記録する. 分類, 17(1):43-47. (7月31日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308):10. (8月12日)

植物教室「公園の樹木をみる会ー第42回ー」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308):12. (8月12日)

第269回シダ観察会—勝央町— (2017年6月11日)
報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308) :
8. (8月12日)

高梁市成羽美術館「ティラノが成羽にやっつき
た!」列品紹介, ハウスマンニア, ナリワエンシス,
地名由来の植物化石. 山陽新聞(高梁, 成羽). (8
月25日)

チョウのくる花, 自然のおはなし. 山陽新聞(さん
太タイムズ). (8月27日)

尾瀬, 大江湿原のニッコウキスゲ群落. しぜんしく
らしき, (102) : 1. (9月1日)

駒の尾山の温帯性樹木. しぜんしくらしき, (102) :
18-19. (9月1日)

第270回シダ観察会—真庭市(旧勝山町)— (2017
年7月9日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー
ース, (309) : 4. (9月9日)

「しぜんしくらしき102号」を発行. 倉敷市立自然
史博物館友の会ニュース, (309) : 8. (9月9日)

博物館講座「植物の採集方法と標本作り」報告. 倉
敷市立自然史博物館友の会ニュース, (309) : 8-9. (9
月9日)

特別陳列「新着資料展2017」. 倉敷市立自然史博物
館友の会ニュース, (310) : 11. (10月14日)

第271回シダ観察会—美作市(旧東栗倉村)— (2017
年8月28日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー
ース, (310) : 4. (10月14日)

職場体験を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニ
ュース, (310) : 6. (10月14日)

特別陳列「新着資料展2017」. 倉敷市立自然史博物
館友の会ニュース, (311) : 11. (11月11日)

スライド映写会「花の百名山を訪ねて4〜八甲田山,
針ノ木岳, 蓮華岳, 尾瀬沼, 尾瀬ヶ原〜」. 倉敷市立
自然史博物館友の会ニュース, (311) : 11. (11月11
日)

第272回シダ観察会—津山市(旧加茂町)— (2017
年9月11日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー
ース, (311) : 4. (11月11日)

美作市後山 総検行山の樹木. 倉敷市立自然史博物
館友の会ニュース, (311) : 5-6. (11月11日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース, (311) : 7. (11月11日)

ネズミサシ(ネズ). 倉敷の自然, (103) : 1-2. (11
月20日)

身近な植物たち(6) アカミタンポポ. 倉敷の自然,
(103) : 32. (11月20日)

赤い果実をつける樹木, 種を広く散布, 子孫残す,
自然のおはなし. 山陽新聞(さん太タイムズ). (11
月26日)

「どんぐりころころ」で開会! . 倉敷市立自然史博物
館友の会ニュース, (312) : 1-2. (12月9日)

職場体験学習を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース, (312) : 12. (12月9日)

第273回シダ観察会—新見市(旧大佐町)— (2017
年10月10日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー
ース, (312) : 5. (12月9日)

ワークショップ「標本も光る?! ブラックライトの
不思議な世界」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニ
ュース, (312) : 9. (12月9日)

ミニ展示「干支(イヌ)にちなんだ植物」開催中.
倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (313) : 10.
20180113

スライド映写会「花の百名山を訪ねて4〜八甲田山,
針ノ木岳, 蓮華岳, 尾瀬岳, 尾瀬ヶ岳〜」報告. 倉敷
市立自然史博物館友の会ニュース, (313) : 11. (1
月13日)

第274回シダ観察会—美作市(旧美作町)— (2017
年11月20日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュー
ース, (313) : 4. (1月13日)

第275回シダ観察会—久米南町— (2017年12月10日)
報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (314) :
3. (2月10日)

今年の夏山合宿は, 「花の浮島, 礼文島と利尻島」.
倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (314) : 8. (2
月10日)

真庭市豊栄で観察した植物の種子散布型. しぜんし
くらしき, (104) : 17-18. (3月1日)

岡山県産ヒゴタイの標本見つかる. しぜんしくらし
き, (104) : 20. (3月1日)

職場体験を終えて. 倉敷市立自然史博物館友の会ニ
ュース, (315) : 11. (3月10日)

第276回シダ観察会—備前市日生町日生 鴻島—
(2018年1月22日) 報告. 倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース, (315) : 5. (3月10日)

博物館講座「岡山県に産するブドウ科の植物—学芸
員研究紹介—」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニ
ュース, (315) : 8. (3月10日)

岡山県と韓国 両方に分布する植物, 大陸との結び
付き示す, 自然のおはなし. 山陽新聞(さん太タイム
ズ). (3月25日)

ネズミモチ. 倉敷の自然, (104) : 1-2. (3月31
日)

身近な植物たち(7) セリ. 倉敷の自然, (104) : 2.
(3月31日)

ウ 奥島雄一: 昆虫担当(63件)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘
いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース,
(304) : 5. (4月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース, (304) : 5. (4月8日)

むしむし探検隊研究発表会&博物館講座「学芸員研
究紹介—昆虫—」の報告. 倉敷市立自然史博物館友の
会ニュース, (304) : 7. (4月8日)

1年間をふり返って. KURAKON, (84) : 459. (4月8

日) 倉敷市立自然史博物館の催しもの案内. KURAKON, (84): 460-462. (4月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (305): 10. (5月13日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (305): 10. (5月13日)

《予告》第26回特別展「チョウきれい! チョーたのしい! 昆虫展」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (305): 13. (5月13日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (305): 13. (5月13日)

共著: 末長晴輝・奥島雄一・安達由莉, 倉敷みらい公園でヒメクダマキモドキを複数確認. しぜんしくらしき, (101): 3-4. (6月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306): 5. (6月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306): 5. (6月10日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306): 7. (6月10日)

「昆虫の森」の昆虫募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (306): 7. (6月10日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307): 7. (7月8日)

特別陳列「鳴く虫サロン」出品者募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307): 10. (7月8日)

共著: 奥島雄一・神田佐奈恵, 「昆虫の森」の昆虫募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307): 10. (7月8日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307): 10-11. (7月8日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (307): 11. (7月8日)

チョウの鱗粉. 自然のおはなし, 110, 山陽新聞(さん太タイムズ), (48204): 12. (7月23日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308): 9. (8月12日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308): 10. (8月12日)

共著: 奥島雄一・神田佐奈恵, 「昆虫の森」の昆虫募集.

倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308): 12. (8月12日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308): 13. (8月12日)

特別陳列「鳴く虫サロン」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (308): 13. (8月12日)

③昆虫化石. 山陽新聞(高梁, 新見圏版). (8月23日)

竹林寺山の春の昆虫. しぜんしくらしき, (102): 16. (9月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘い. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (309): 5. (9月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (309): 6. (9月9日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (309): 8. (9月9日)

「自然の標本なんでも相談会」報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (309): 8. (9月9日)

特別陳列「鳴く虫サロン」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (309): 8. (9月9日)

共著: Okushima, Y. & Y. Hsiao, Revision of the *Lycocerus fainanus* group (Coleoptera, Cantharidae), with description of a new species from Taiwan. Special Bulletin of the Coleopterological Society of Japan, (1): 121-130. (9月22日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (310): 5. (10月14日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (310): 5. (10月14日)

特別展「チョウきれい! チョーたのしい! 昆虫展」の報告とお礼. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (310): 10. (10月14日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (310): 11. (10月14日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (311): 6. (11月11日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (311): 6. (11月11日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (311): 11. (11月11日)

倉敷市立自然史博物館のおしらせ. KURAKON, (85): 466. (11月22日)

円通寺公園の夏の昆虫. しぜんしくらしき, (103): 17-18. (12月1日)

共著: 原田愛・奥島雄一, 脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (312): 6. (12月9日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (312): 7. (12月9日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (312): 9. (12月9日)

オオスズメバチ. 自然のおはなし, 115, 山陽新聞(さん太タイムズ), (48354): 12. (12月24日)

共著：奥島雄一・高橋元，岡山県におけるムネアカハラビロカマキリの記録. 月刊むし，東京，(563): 51. (1月1日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(313): 6. (1月13日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(313): 6-7. (1月13日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(313): 10. (1月13日)

第2回むしむし探検隊探検報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(313): 10. (1月13日)

受講者の声. 平成29年度博物館学芸員専門講座「地域と共生し，認められる博物館」，国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

(www.nier.go.jp/jissen/training/h29/hakubutsukanaku.html#voice). (1月22日)

受講者からの声. 「社研EYE」，社会教育，東京，(860): 68. (2月1日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(314): 4. (2月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(314): 5. (2月10日)

共著：原田愛・奥島雄一，脊椎動物グループのお誘いと活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(315): 6. (3月10日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース，(315): 7. (3月10日)

冬季におけるアゲハ幼虫の観察例. みちしるべ，岡山，(54): 580. (3月25日)

成虫越冬するハナムグリ2種を確認. さやばねニューシリーズ，(29): 54. (3月30日)

博物館の寄贈標本について. KURAKON，倉敷，(86): 470. (3月31日)

一年間をふり返って. KURAKON，倉敷，(86): 471 (3月31日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内. KURAKON，倉敷，(86): 472-475. (3月31日)

ヒナカマキリの記録. すずむし，倉敷，(153): 11. (3月31日)

エ 江田伸司：動物担当（6件）

モズ. 自然のおはなし，108，山陽新聞（さん太タイムズ），(48150):12. (5月28日)

果たしてヤマセミとの出会いは. しぜんしくらしき，(101): 19. (6月1日)

香々美ダム周辺で自然観察. しぜんしくらしき，(102): 17. (9月1日)

ヒトの手. 自然のおはなし，112，山陽新聞（さん太タイムズ），(48266):12. (9月28日)

ナゴヤダルマガエル. 岡山の自然シリーズ，142，きび野，(147):5. (9月30日)

冬の赤，青，黄色い鳥. 自然のおはなし，116，山陽新聞（さん太タイムズ），(48388):12. (1月28日)

(4) 発表，講演

ア 武智泰史：地学担当（1件）

西居俊基・多田希・小林祥一・猶原順・草地功・武智泰史，布賀鉱山産Ca0-B203-H20系鉱物のホウ素同位体，日本鉱物科学会2017年年会，総会. (9月12~14日)

イ 狩山俊悟：植物担当（2件）

標本救済ネットワークのとりくみについて. 研究会「高齢化社会と資料保全」（主催：西日本自然史系博物館ネットワーク，大阪市立自然史博物館），大阪市立自然史博物館. (3月6日)

共同（中村剛士・地職恵・沢和浩・安部祐史・濱田展也・狩山俊悟・松井宏光・篠原渉・鈴木武・坪田博美・森田竜義・西野貴子）. 西日本を中心とした淡黄色型倍数体タンポポのクローン間での花色変異の比較. 日本植物分類学会第17回大会，金沢歌劇座. (3月8~10日)

ウ 奥島雄一：昆虫担当（2件）

博物館の寄贈標本について，あげる側ともらう側の事情. 倉敷昆虫同好会例会，しげい病院. (12月23日)

100年後に後悔しないための，とりあえずもらう努力. 研究会「高齢化社会と資料保全」，大阪市立自然史博物館. (3月6日)

4 査読

(1) 奥島雄一：昆虫担当（7件）

4月6日 Elytra, New Series, Tsukuba.

6月16日 Special Bulletin of the

oleopterological Society of Japan, Tsukuba.

7月9日 Zootaxa, New Zealand.

9月2日 ZooKeys, Bulgaria.

9月3日 Elytra, New Series, Tsukuba.

10月14日 Japanese Journal of Systematic Entomology, Matsuyama.

12月27日 岡山県自然保護センター研究報告

Ⅲ. 資料収集保管事業

1 寄贈標本 (敬称略)					
(1) 地学分野 (8件計約410点)				6月22日	岡山県産植物標本 5点 裾分由美子
7月25日	ひすい輝石 (ミャンマー)			6月22日	岡山県産植物標本 1点 稲神邦代
	1点	西川泰弘		7月6日	岡山県産植物標本 62点 木下延子
8月20日	恐竜の糞化石, 鉱物	約10点	千田裕優	7月6日	津山市産植物標本 2点 稲神邦代
2月20日	化石	約100点	谷本 隆	7月7日	岡山県産植物標本 44点 田淵正和
2月27日	化石	約100点	谷本 隆	7月7日	植物腊葉標本 331点 小島裕子
3月1日	角銀鉱(北海道枝幸郡歌登町パンケナイ歌登鉱山)	1点	衣斐 守	7月8日	岡山県産植物標本 25点 岡本泰典
3月7日	化石	約100点	谷本 隆	7月11日	岡山県産植物標本 111点 溝手啓子
3月14日	化石	約100点	谷本 隆	7月13日	植物腊葉標本 160点 小島裕子
3月23日	石英 (愛媛県西条市市之川鉱山)	1点	木下千里	7月19日	国内産植物標本 163点 小島裕子
				7月27日	岡山県産植物標本 2点 榎本 敬
				7月27日	岡山県産植物標本 63点 木下延子
				7月27日	国内産植物標本 103点 小島裕子
				7月29日	岡山県産植物標本 33点 木下延子
(2) 植物分野 (114件計約7,700点)				8月8日	植物腊葉標本 281点 小島裕子
4月4日	国内産植物標本	181点	小島裕子	8月8日	岡山県産植物標本 34点 裾分由美子
4月4日	国内産植物標本	44点	片山 久	8月8日	国内産植物標本 37点 木下延子
4月7日	国内産植物標本	347点	小島裕子	8月8日	国内産植物標本 66点 溝手啓子
4月12日	国内産植物標本	163点	小島裕子	8月11日	国内産植物標本 51点 溝手啓子
4月16日	笠岡市産帰化植物標本	2点	小橋理絵子	8月13日	セイヨウヒルガオほか 10点 溝手啓子
4月18日	ナデシコ科ほか植物標本	44点	馬淵智生	8月13日	ウツボカズラ科の捕虫袋 2点 松本哲也
4月23日	日本産植物標本	295点	小島裕子	8月16日	コバノイラクサ 2点 窪田正彦
4月27日	国内産植物標本	101点	溝手啓子	8月17日	宮崎県宮崎市産植物標本 11点 林扶充子
5月6日	国内産植物標本	163点	狩山俊悟	8月17日	玉野市産植物標本 11点 宮井里紀
5月11日	岡山県産植物標本	31点	木下延子	8月17日	玉野市産植物標本 12点 綾香咲希
5月11日	クチナシグサ	1点	稲神邦代	8月20日	岡山県産植物標本 6点 片岡博行
5月13日	国内産植物標本	33点	岡本泰典	8月20日	こけ玉に生えた植物 3点 小橋理絵子
5月13日	岡山県産植物標本	79点	木下延子	8月28日	岡山県産植物標本 42点 田淵正和
5月13日	メリケンソウ	1点	小橋理絵子	9月6日	ウツボカズラ科の捕虫袋 4点 松本哲也
5月15日	岡山県産植物標本	85点	田淵正和	9月12日	高梁市産植物標本 57点 裾分由美子
5月19日	総社市産植物標本	1点	稲神邦代	9月12日	笠岡市北木島産植物標本 23点 小橋理絵子
5月25日	岡山県産植物標本	23点	片山 久	9月12日	国内産植物標本 114点 溝手啓子
5月28日	国内産植物標本	29点	岡本泰典	9月12日	国内産植物標本 39点 田淵正和
5月28日	岡山県産植物標本	18点	田淵正和	9月15日	オウシュウナラ 1点 難波稔明
5月30日	岡山県産植物標本	17点	田淵正和	9月26日	津山市産植物標本 9点 稲神邦代
6月1日	国内産植物標本	343点	小島裕子	9月26日	国内産植物標本 42点 裾分由美子
6月1日	国内産植物標本	4点	荒木武夫	9月28日	国内産植物標本 150点 溝手啓子
6月6日	岡山県産植物標本	77点	木下延子	10月3日	岡山県産植物標本 49点 田淵正和
6月6日	クリハラン	1点	稲神邦代	10月3日	高梁市産植物標本 10点 小橋理絵子
6月9日	沖縄県産植物標本	237点	狩山俊悟	10月3日	ステゴビル 1点 力石 泉
6月9日	岡山県産植物標本	3点	小橋理絵子	10月8日	国内産植物標本 36点 稲神邦代
6月9日	岡山県産植物標本	69点	裾分由美子	10月11日	国内産植物標本 38点 田淵正和
6月9日	国内産植物標本	92点	溝手啓子	10月11日	コウヤマキ 4点 溝手啓子
6月9日	岡山県産植物標本	27点	佐葉信也	10月12日	高梁市産植物標本 26点 小橋理絵子
6月11日	岡山県産植物標本	50点	田淵正和	10月17日	新見市産植物標本 9点 稲神邦代
6月13日	国内産植物標本	108点	小島裕子	10月20日	高梁市産植物標本 11点 小橋理絵子
6月14日	岡山県産植物標本	2点	高原千春	10月24日	高梁市産植物標本 57点 裾分由美子
6月17日	新見市産植物標本	1点	高原千春	10月27日	国内産植物標本 105点 溝手啓子
6月21日	岡山県産植物標本	138点	木下延子	10月31日	クロキ 1点 稲神邦代

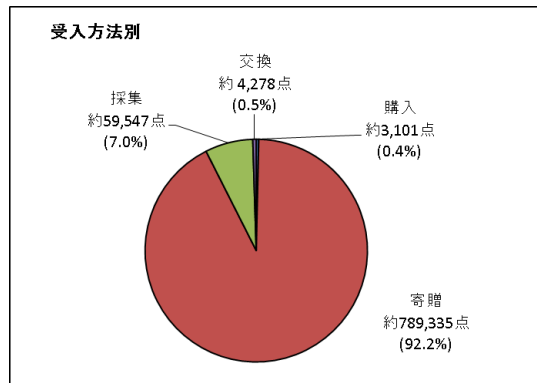
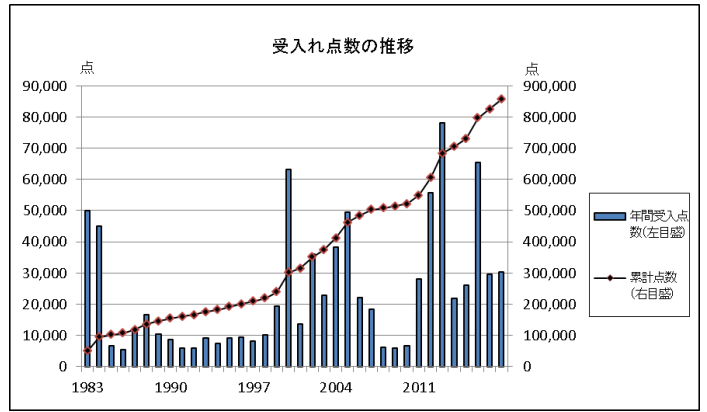
11月7日	国内産植物標本	111点	藤井俊夫	9月22日	岡山県産昆虫類	1点	佐々木恒美
11月12日	オオバノハチジョウシダ	1点	稲神邦代	9月24日	日本産昆虫類	32点	
11月12日	高梁市産植物標本	18点	小橋理絵子		環境省中国四国地方環境事務所野生生物課		
11月15日	シラガブドウ	6点	榎本 敬	9月26日	岡山県産昆虫類	1点	磯野裕昭
11月21日	岡山県産植物標本	66点	田淵正和	9月26日	岡山県産昆虫類	1点	神田佐奈恵
11月21日	岡山県産植物標本	51点	溝手啓子	9月29日	岡山県産昆虫類	1点	岸戸琢朗
12月7日	岡山県産植物標本	6点	稲神邦代	10月3日	岡山県産昆虫類	1点	元岡かおり
12月7日	高梁市産植物標本	25点	小橋理絵子	10月3日	岡山県産昆虫類	1点	稲神邦代
12月9日	岡山市産スゲ属植物標本	22点	片山 久	10月11日	岡山県産昆虫類	16点	平井
12月10日	岡山県産植物標本	34点	田淵正和	10月17日	日本産昆虫類	31点	佐々木良一
12月12日	国内産植物標本	72点	裾分由美子	10月18日	岡山県産昆虫類	1点	木下延子
12月14日	岡山県産ブドウ科植物標本	14点	狩山俊悟	10月20日	実験飼育昆虫	4点	長谷川道明
12月14日	総社市産植物標本	13点	脇本 浩	10月22日	岡山県産昆虫類	1点	加藤 学・雪江祥貴
12月17日	ツツイトモ	1点	藪内喜人	10月24日	岡山県産昆虫類	12点	三宮
12月26日	国内産植物標本	84点	溝手啓子	10月26日	岡山県産昆虫類	2点	高橋 元
12月26日	岡山県産植物標本	6点	小橋理絵子	10月31日	日本産昆虫類	15点	裾分由美子
1月13日	岡山県産植物標本	2点	片岡博行	11月4日	岡山県産昆虫類	1点	江田伸司
1月20日	岡山県産水草標本	230点	藪内喜人	11月4日	岡山県産昆虫類	1点	土居仁司
1月24日	岡山県産植物標本	5点	裾分由美子	11月5日	岡山県産昆虫類	3点	小原初枝
1月30日	岡山県産植物標本	10点	地職 恵	11月7日	岡山県産昆虫類	1点	丹原昭義
2月3日	国内産植物標本	166点	狩山俊悟	11月10日	外国産昆虫類	1点	小松原理宏
2月13日	岡山県産植物標本	2点	田淵正和	11月24日	日本産昆虫類	10点	榎本 敬
2月18日	ハラン	1点	木下延子	11月29日	日本産昆虫類	1点	安達由莉
3月13日	ナガバジャノヒゲ	1点	稲神邦代	12月26日	日本産昆虫類	5点	佐々木良一
3月21日	岡山県産植物標本	5点	松本哲也	1月20日	岡山県産昆虫類	1点	中原一儿
3月23日	キジカクシ属植物標本	1点	古屋野寛	1月20日	外国産昆虫類	24点	
3月25日	岡山県産植物標本	9点	溝手啓子		九州大学熱帯農学研究センター		
3月27日	国内産植物標本	約1,000点	勝部弘和	1月21日	世界の昆虫	16点	天長晴輝
3月31日	国内産植物標本	101点	榎本 敬	1月21日	日本産昆虫類	10点	南 雅之
3月31日	国内産植物標本	240点	狩山俊悟	2月1日	世界の昆虫類	10,002点	松下啓一
3月31日	岡山県産植物標本	130点	狩山俊悟	2月2日	岡山県産昆虫類	1点	小橋理絵子
				2月22日	岡山県産昆虫類	1点	寺澤和枝
				3月8日	日本産昆虫類	2点	松本吏樹郎
				3月23日	世界の昆虫類	約10,000点	
							黒田泰子・松岡早苗
(3) 昆虫分野 (49件計約20,227点)				(4) 動物分野 (33件計約1,500点)			
4月20日	岡山県産昆虫類	1点	田口栄次	4月1日	イノシシ頭骨ほか	10点	赤澤 潔
5月2日	岡山県産昆虫類	1点	田口栄次	5月19日	トウネン	1点	山崎法子
5月5日	日本産昆虫類	1点	小橋理絵子	5月25日	ホンドノレンコウモリ	1点	山田 勝
5月28日	岡山県産昆虫類	1点	宮本颯希	6月13日	ソウシチョウ	1点	岡本克子
6月15日	岡山県産昆虫類	5点	小野知子	7月13日	鳥類剥製	152点	伊原木隆太
6月20日	岡山県産昆虫類	1点	近藤 翼	7月27日	キクメハシリグモ	2点	山田 勝
6月20日	岡山県産昆虫類	1点	伊藤那夫	8月16日	アオゲラ	1点	藤原純子
7月7日	岡山県産昆虫類	1点	水川敦之	10月4日	弓削崇動物コレクション	約300点	弓削 崇
7月16日	岡山県産昆虫類	1点	小山公子				
8月11日	岡山県産昆虫類	1点	森元慶之助	11月1日	ノゴマ	1点	福地友美
8月25日	岡山県産昆虫類	1点	溝手啓子	11月12日	モモンガほか	2点	山田 勝
8月25日	岡山県産昆虫類	2点	裾分由美子	11月15日	オオバン	1点	檜原 瞳
8月27日	岡山県産昆虫類	1点	阿部久子	11月21日	アオウミガメ	1点	梅岡輝美
9月20日	岡山県産昆虫類	6点		12月9日	シロハラ	1点	岩藤真美
			倉敷市環境政策課				
9月20日	岡山県産昆虫類	1点	元岡ひろみ				
9月20日	岡山県産昆虫類	1点	神田佐奈恵				
9月22日	岡山県産昆虫類	1点	増成 勇				

12月27日	ツミ	1点	河邊誠一郎
1月16日	アトリ	1点	江田伸司
2月28日	ヌートリア	1点	山崎法子
2月28日	アオサギ	1点	山崎法子
2月28日	ハシブトガラス	1点	山崎法子
2月28日	ヒクイナ	1点	小山一樹
3月8日	ノウサギ	1点	原田 愛
3月9日	ヤブサメ	1点	大塚利昭
3月10日	アオジ	1点	國忠高広
3月14日	アオウミガメ	1点	浅野健治
3月14日	リス類の巣	1点	小橋理絵子
3月15日	クモ	約1,000点	菅波洋平
3月20日	テン	1点	夏井 操
3月20日	テン	1点	片岡博行
3月20日	トラツグミ	1点	小橋典明
3月20日	コゲラ	1点	小橋典明
3月20日	コウベモグラ	1点	小橋典明
3月20日	ホオジロ	1点	小橋典明
3月20日	タヌキ	1点	原田 愛
3月20日	タヌキ	1点	原田光之

2 館員による採集

(1) 植物分野 (無記名は狩山俊悟採集)		計176点
5月9日	苫田郡鏡野町越畑	7点
5月14日	苫田郡鏡野町越畑	1点
5月29日	英田郡西栗倉村大茅	1点
10月3日	真庭市小童谷	3点
10月4～5日	愛媛県西予市三瓶町鳴山ほか	163点
11月22日	岡山市北区牟佐	1点
(2) 昆虫分野 (無記名は奥島雄一採集)		計347点
4月9日	浅口市嶋方町本庄	30点
4月23日	倉敷市浅原	22点
5月9日	鏡野町越畑	30点
5月14日	鏡野町越畑	68点
6月6日	倉敷市玉島柏島	6点
6月4日	笠岡市高島	52点
6月18日	倉敷市玉島柏島	7点
6月27～28日	新見市～真庭市	79点
7月1日	高梁市檜井	1点 (江田伸司)
10月3日	真庭市豊栄, 子童谷	19点
10月22日	真庭市豊栄	17点
11月22日	岡山市北区牟佐	1点
11月26日	岡山市北区牟佐	4点
12月17日	高梁市玉川町	14点
2月1日	香川県直島町	1点

3 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳



年度	地学	植物	昆虫	動物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	約 3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	1,842	445	5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	2,334	972	7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	1,062	16	13,516	約 315,249
2001	27	約 12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	165	約 49,562	約 462,029
2005	33	約 7,224	約 13,861	889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
合計	約 8,364	約 284,974	約 487,859	約 75,064	約 856,261	

4 二次資料

(1) 寄贈者, 交換先 (敬称略, 入力完了分のみ)

[個人] 青木淳一, 奥島雄一, 狩山俊悟, 小島裕子, 澤田秀美, 清水千恵子, 末長晴輝, 山地治

[機関, 団体] 浦幌町立博物館, 釧路市立博物館, 帯広百年記念館, 小樽市総合博物館, 北海道博物館, 斜里町立知床博物館, ひがし大雪自然館, 北海道大学大学院水産科学研究院, 根室市歴史と自然の資料館, 三笠市立博物館, むかわ町立穂別博物館, 美幌博物館, 青森県立郷土館, 岩手県立博物館, 宮城県伊豆沼, 内沼環境保全財団, 宮城植物の会, 秋田県立博物館, 秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館, 米沢市教育委員会文化課, 米沢市上杉博物館, 農業環境技術研究所, 森林総合研究所, 那須平成の森フィールドセンター, ぐんま昆虫の森, 群馬県立博物館友の会, 群馬県立自然史博物館, 栃木県立博物館, 埼玉県立川の博物館, 埼玉県立自然の博物館, 川口市立科学館, 山階鳥類研究所, 千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム, 東レ科学振興会, 千葉県立中央博物館, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 我孫子市鳥の博物館, 日本博物館協会, 科学技術振興機構, 平凡社, 国立科学博物館, 府中市郷土の森博物館, 日本大学文理学部自然科学研究所, 環境事業団地球環境基金部, 東京大学総合研究博物館, 日本鳥類保護連盟, 日本鯨類研究所, 全国科学博物館協議会, 世界自然保護基金日本委員会, 地学団体研究会, WWF JAPAN, 国立極地研究所, 日本野鳥の会, 文一総合出版, 岩波書店, 目黒寄生虫館, (株)ベネッセコーポレーション, JT生命誌研究館表現を通して生きものを考えるセクター, (株)今人舎/エヌ, アンド, エス企画編集部, 日本チョウ類保全協会, 日本野鳥の会, 横須賀市自然人文博物館, 平塚市博物館, 川崎市教育委員会, 日本大学生物資源科学部博物館, 神奈川県立生命の星, 地球博物館, 石川町立歴史民俗資料館, 環境省自然環境局生物多様性センター, 伊那谷自然友の会, 信州大学農学部, 大町山岳博物館, 長野市立博物館, 飯田市美術博物館, 野尻湖ナウマンゾウ博物館, 長岡市立科学博物館, 富山県中央植物園, 富山市科学博物館, 富山県教育委員会, 岐阜県博物館, 石川県白山自然保護センター, のと海洋ふれあいセンター, 石川県ふれあい昆虫館, 石川県立自然史資料館, 福井県自然保護センター, 福井市自然史博物館, 福井県立恐竜博物館, 瑞浪市化石博物館, 熱帯動植物友の会, 東海大学海洋科学部博物館東海大学海洋学部博物館編集委員会, 東海大学理学部, 東海大学課程資格教育センター, 沼津市歴史民俗資料館, NPO静岡県自然史博物館ネットワーク, 東海大学海洋科学部博物館, ふじのくに地球環境史ミュージアム, 東海大学海洋科学部博物館東海大学海洋学部博物館編集委員会, 豊田市矢作川研究所, 名古屋市環境局なごや生物多様性センター, 農林水産省名古屋植物防疫所, 新城市鳳来寺山自然科学博物館, 豊橋市自然史博物館, 三重県総合博物館, 藤原岳自然科学館, 鳥羽水族館, 日本地学研究会, 関西菌類談話会, 京都大学総合博物館, 滋賀県立琵琶湖博物館, 大阪市立自然史博物館, 関西自然保護機構, 大阪府宮前公園昆虫館, 伊丹市昆虫館友の会, 伊丹市昆虫館, 姫路科学館, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県立水産生物研究会, 神戸市立須磨海浜水族園, 近畿植物同好会, 和歌山県立自然博物館, 和歌山市立博物館, 氷ノ山自然ふれあい館響の森, 鳥取県立博物館, 鳥取昆虫同好会, 公益財団法人中海水鳥国際交流基

金財団, (財)三瓶フィールドミュージアム財団, ホシザキグリーン財団, 島根県立宍道湖自然館, (一般社団法人)日本樹木医会岡山県本部, 岡山の自然を守る会, 倉敷昆虫同好会, 阿智神社社務所, 倉敷市市史編さん室, 岡山県郷土文化財団, 岡山市立オリエント美術館, 岡山県古代吉備文化財センター, 岡山県自然保護センター, 岡山県植物誌研究会, 岡山理科大学, 岡山理科大学自然植物園, 岡山淡水魚研究会, 岡山県博物館協議会, 岡山県立美術館, 岡山県立博物館, 岡山県環境保全事業団, 岡山県水産試験場, 岡山市立半田山植物園, 岡山理科大学自然科学研究所, 岡山コケの会, 岡山大学文学部, 日本野鳥の会岡山県支部, 公益財団法人岡山県郷土文化財団犬養木堂記念館, 浅口市寄島町アッケシソウ守る会, 岡山県農林水産総合センター, 岡山県環境保健センター, 川崎医科大学生物学教室, 日本博物館協会中国支部, 倉敷市立自然史博物館友の会, 倉敷市市民環境局環境部環境政策課, 倉敷市立自然史博物館, 高梁川流域連盟, 高梁市成羽美術館, 広島大学総合博物館, 広島市植物公園, 中国電力(株)エネルギー総合研究所, 萩博物館, 山口県立山口博物館, 秋吉台科学博物館, 防府市青少年科学館, 徳島県立博物館, 香川県立ミュージアム, 香川生物学会, 愛媛県総合科学博物館, 日本昆虫分類学会, 面河山岳博物館, 高知県越知町立横倉山自然の森博物館, 高知県牧野記念財団, 森林総合研究所四国支所, 九州大学総合研究博物館, 天草市立御所浦白亜紀資料館, 熊本市立熊本博物館, 日田市立博物館, 郷土日田の自然調査会, 九州保健福祉大学, 北九州市立自然史博物館友の会, 北九州市立自然史・歴史博物館, 宮崎県総合博物館, 佐賀自然史研究会, 鹿児島県立博物館, THE INTEREST (DOKBIA), Deutsches Entomologisches Institut, Society for the Study of Species Biology.

(2) 寄贈 (入力完了分のみ)

単行書: 42冊, 雑誌: 282冊

(3) 交換 (入力完了分のみ)

単行書: 36冊, 雑誌: 409冊

(4) 購入

[備品] 単行書: 5冊

[消耗品] 単行書: 6冊, 雑誌: 64冊

5 登録済み資料点数 (平成30年3月31日現在)

(1) 地学	計7,457点 (内29年度266点)
鉱物	2,403点 (内29年度0点)
岩石	1,561点 (内29年度0点)
化石	3,493点 (内29年度266点)
(2) 植物	計232,013点 (内29年度7,001点)
維管束植物	232,013点 (内29年度7,001点)
(3) 昆虫	計204,664点 (内29年度6,303点)
日本産昆虫類	163,465点 (内29年度5,034点)

外国産昆虫類 41,199点 (内29年度1,269点)

(4) 動物	計 27,473点 (内29年度 1点)
無脊椎動物	11,733点 (内29年度 0点)
哺乳類	80点 (内29年度 0点)
鳥類	163点 (内29年度 1点)
両生類・爬虫類	371点 (内29年度 0点)
魚類	15,059点 (内29年度 0点)
その他	67点 (内29年度 0点)

(5) 二次資料	
図書	11,902冊 (内29年度 83点)
逐次刊行物	34,818冊 (内29年度 703点)

6 標本整理ボランティアの活動

(1) 植物分野

標本マウント・データ入力：高林民雄，松田恵子，入江和喜，島岡浩恵，難波知佳子，若林保子，弘中一江，浅野仁美，川上節子，藤原颯太郎，東口ふみ，大江宏，田辺義明，田辺昭子。（敬称略）延べ294回

(2) 昆虫分野

大森斉，岡野貴司，斉藤陽一，佐々木良一，宮原康則，山地治。（敬称略）延べ218回

(3) 動物分野

小橋理絵子，山崎法子，山野ひとみ。（敬称略）延べ41回

(4) 脊椎動物グループ

事業の概要：駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により，ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み，スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示，普及活動で活用し，博物館活動の輪を一般市民に広げる。

浅野有紀，安達由莉，井関武弘，岩井賢一，上田彩乃，内田理絵，大山高弘，大山達仁，大山望実，加藤直樹，木越竜平，小山一樹，頃末敏秀，辻優子，中藤駿，中原清江，中本紗耶加，野田昌裕，野津英司，野津祐子，原田愛，北條朋実，北條成彬，細川祐子，正木紗穂，八神未千弘，山田晃平，山田峻。（敬称略）延べ156回

7 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し，博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた（予約制）。

昆虫10回

8 館外者による収蔵資料の利用（ボランティア活動，お宝探検除く）

地学0件，植物46件，昆虫62件，動物3件，二次資料12件。

9 収蔵資料を活用した業績（使用后，当館へ寄贈されたものも含む）

(1) 植物分野（13件）

横川昌史，瀬戸内海沿岸のハマボウの分布。

Nature Study, 63(6) : 6. (6月10日)

狩山俊悟・小畠裕子・田淵正和・木下延子・片山久・溝手啓子・裾分由美子・榎本敬・山下純・片岡博行・國忠高広・島岡浩恵編，岡山県赤磐市植物目録2017. 123pp. (6月15日)

藤井伸二・勝山輝男・狩山俊悟・牧雅之，コウガイセキショウモの野生化個体群を神奈川県と岡山県に記録する。分類, 17(1) : 43-47. (7月31日)

裾分由美子，岡山県のドクダミ科 SAURURACEAE - 岡山県植物誌資料-。しぜんしくらしき, (102) : 2-5. (9月1日)

狩山俊悟，ネズミサシ(ネズ)。倉敷の自然, (103) : 1-2. (11月20日)

裾分由美子，岡山県のイイギリ属 *Idesia* Maxim. - 岡山県植物誌資料-。しぜんしくらしき, (103) : 7-9. (12月1日)

岡本泰典，倉敷市立自然史博物館所蔵の「昭和5年採集動員標本」。しぜんしくらしき, (103) : 10-14. (12月1日)

藪内喜人，岡山県におけるツツイトモ(ヒルムシロ科)の新産地。水草研究会誌, (106) : 24-26. (2月)

岡本泰典，宇治島(広島県福山市)の植物。しぜんしくらしき, (104) : 4-7. (3月1日)

裾分由美子，岡山県のイイギリ属 *Xylosma* G. Forst. - 岡山県植物誌資料-。しぜんしくらしき, (104) : 8-12. (3月1日)

狩山俊悟，岡山県産ヒゴタイの標本見つかる。しぜんしくらしき, (104) : 20. (3月1日)

狩山俊悟，岡山県植物誌資料(17) 岡山県のブドウ科。倉敷市立自然史博物館研究報告, (33) : 31-48. (3月25日)

狩山俊悟，ネズミモチ。倉敷の自然, (104) : 1-2. (3月31日)

(2) 昆虫分野（14件）

田中敏明，鳥取県辰巳峠から産出した約600万年前のゾウム化石。月刊むし, (558) : 7-13. (8月1日)

奥島雄一，竹林寺山の春の昆虫。しぜんしくらしき, (102) : 16. (9月1日)

Okushima, Y. & Y. Hsiao, Revision of the *Lycocerus fainanus* group (Coleoptera, Cantharidae), with description of a new species from Taiwan. Special Bulletin of the Coleopterological Society of Japan, (1) : 121-130. (9月22日)

武田雅生，フタホシハバチの岡山県からの記録。しぜんしくらしき, (103) : 3. (12月1日)

森元慶之助・森元菜文, ヒサゴクサキリの岡山県における追加記録. しぜんしくらしき, (103): 15-16. (12月1日)

奥島雄一, 円通寺公園の夏の昆虫. しぜんしくらしき, (103): 17-18. (12月1日)

Suenaga, H., C.-F. Lee & J. Bezděk, Two new species of the genus *Menippus* Clark (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae) from islands of Ryukyu-rettō, Japan, and redescription of *M. issilii* (Chūjō). Entomologische Blätter und Coleoptera, 113(1): 231-240.

安達由莉, ウスタビガの雌雄型の記録. 月刊むし, 東京, (564): 46. (2月1日)

小橋理恵子, 岡山県内でのサツマヒメカマキリの記録. しぜんしくらしき, (104): 2-3. (3月1日)

奥島雄一, 冬季におけるアゲハ幼虫の観察例. みちしるべ, 岡山, (54): 580. (3月25日)

山内健生・奥島雄一, 岡山県におけるシラミバエ科2種の記録. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (33): 5-6. (3月25日)

奥島雄一, 岡山県で発見された2種の特定外来生物指定種のアリ(ハチ目, アリ科). 倉敷市立自然史博物館研究報告, (33): 49-50. (3月25日)

千田喜博・十川晃一, 西日本から確認されたベニヨツボシテントウダマシ. さやばねニューシリーズ, (29): 48-49. (3月30日)

奥島雄一, 成虫越冬するハナムグリ2種を確認. さやばねニューシリーズ, (29): 54. (3月30日)

10 収蔵庫の充実

昆虫標本棚(簡易組み立て式, 24箱用) 19台(特別展用に購入).

11 収蔵庫の燻蒸

場所: 第一収蔵庫(使用薬剤: エキヒュームS)

期間: 6月18日~20日(臨時休館日: 6月20日)

IV. 教育普及事業

※参加者(カッコ内は野外活動における中学生以下の人数)

1 自然観察会

参加者合計 675 (220)名

4月8日 第286回自然観察会「みらい公園の生き物しらべ」倉敷市寿町, 63(26)名

4月9日 第287回自然観察会「おかやま自然探訪53」浅口市鴨方本庄, 53(16)名

5月14日 第288回自然観察会「おかやま自然探訪54」鏡野町越畑, 47(8)名

6月3日 第289回自然観察会「中国山地の植物観察1」英田郡西粟倉村 駒の尾山, 26(6)名

6月18日 第290回自然観察会「もう夏だ!昆虫採集」倉敷市玉島柏島円通寺公園, 113(55)名

7月1日 第291回自然観察会「ヨタカをさがしてみよう」高梁市, 17(1)名

7月16日 第292回自然観察会「ブッポウソウ巣立ち観察会」高梁市ほか, 30(0)名

8月12日 第293回自然観察会「みらい公園の生き物しらべ2017夏/セミのぬげがらしらべ」倉敷市寿町, 86(44)名

9月17日 第294回自然観察会「ミズアオイ観察会」倉敷市粒江, 中止

10月22日 第295回自然観察会「おかやま自然探訪55」真庭市小童谷~豊栄, 7(0)名

11月11日 第296回自然観察会「みらい公園の生き物しらべ2017年秋」倉敷市寿町, 74(28)名

11月26日 第297回自然観察会「おかやま自然探訪56」赤磐市馬屋, 42(3)名

12月10日 第299回自然観察会「ヤマセミをさがしてみよう」新見市, 高梁市, 27(2)名

2月10日 第300回自然観察会「倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年冬」倉敷市寿町, 32(11)名

3月25日 第301回自然観察会「ミズアオイの種まき会」倉敷市加須山, 58(20)名

2 博物館講座

7月30日 「植物の採集方法と標本作り」 37名

12月16日 「色鉛筆で動物画を描こう」 15名

1月14日 「学芸員研究紹介-地学-: 縄地鉦山の鉦石について」 10名

2月18日 「学芸員研究紹介-植物-: 岡山県に産するブドウ科の植物」 37名

3月10日 「学芸員研究紹介-動物-: 岡山県のブッポウソウについて」 20名

3月18日 「学芸員研究紹介-昆虫-: 分類の研究と新種記載の仕方-台湾産ジョウカイボン科の例-」 65名

3 自然の標本なんでも相談会

8月20日 121名

4 植物教室

5月20日 「探鳥コースの樹木をみる会」倉敷市玉島, 16(8)名

9月24日「公園の樹木をみる会」倉敷市下津井, 21
(10)名

5 動物研究会

5月28日「第7回魚類調査」浅口市金光町, 50(18)名

6 むしむし探検隊

参加者延べ206(21)名

隊長: 奥島雄一(館員), 副隊長: 大森斉, 岡野貴司,
中野一成, 加藤学, 末長晴輝, 武田寛生, 武田雅生, カ
メラマン: 藤本徹哉, アシスタント: 神田佐奈恵(館員),
隊員(小5~高3)15名

5月7日 オリエンテーション 26名

6月4日 第1回探検 笠岡市高島, 22(11)名

7月1日~9月10日 特別展ボランティア活動(各自3
日以上)延べ42名以上

10月1日~11月5日「しぜんしくらしき賞」作品応募
14名

11月3日 自然史博物館まつり参加 18名

12月17日 第2回探検 高梁市玉川町, 19(10)名

3月18日 研究発表会 65名

7 地学教室

1月28日 「ガーネット(ざくろ石)の文鎮作り」
30名

8 自然素材を使った手作り教室

毎月第2日曜日 延べ374名

9 折り紙教室

毎月第4日曜日 延べ356名

10 スライド映写会

12月9日 高山植物スライド会「花の百名山を訪ねて4
~八甲田山, 針ノ木岳, 蓮華岳, 尾瀬沼, 尾瀬ヶ原~」30
名

11 昆虫標本作り体験教室

希望者(事前予約)を対象とした昆虫標本作り

12月15日 2名

(第26回特別展期間中に標本教室を常時開催, それらをの
ぞく)

12 ワークショップ

「標本も光る?!ブラックライトの不思議な世界」

11月19日 60名 (主催: 西日本自然史系博物館ネットワ
ーク, 共催: 倉敷市立自然史博物館, 倉敷市立自然史博物
館友の会)

13 第17回11月3日は自然史博物館まつり

参加者数: 8,395名, 参加者満足度: 95.1%

日時: 11月3日(金, 祝)

時間: 8時30分~16時

会場: 倉敷市立自然史博物館, くすのき広場

主催: 倉敷市立自然史博物館

共催: 倉敷市立自然史博物館友の会

後援: (公社)倉敷観光コンベンションビューロー

出展: 草間台エコミュージアム推進協議会, 非営利活動
法人フォレストフォーピープル岡山, 岡山クワガタ研究会,
岡山理科大学, くらしき作陽大学, 倉敷昆虫館, 重井薬用
植物園, 倉敷市環境学習センター(順不同)

[イベントスケジュール]

ウエルカムコンサート: 8時30分~8時45分

開会式: 8時45分~9時

どんぐりごま選手権: 9時~15時30分

クイズラリー: 9時~16時

倉敷市環境学習センター出展ブース: 9時~16時

いもむしランド: 9時~16時

スズメバチの巣解体ショー: 10時30分~, 14時30分~

化石さがし: 11時~11時30分, 15時30分~16時

昆虫お宝探検&標本作りツアー: 9時~15時

学芸員によるお宝探検ツアー: 植物11時30分~, 地学13
時30分~, 動物14時30分~

ヘラクレスドーム: 9時~16時

倉敷昆虫館, 重井薬用植物園出展ブース: 9時~16時

草間台エコミュージアム推進協議会出展ブース: 9時~
16時

非営利活動法人フォレストピープル岡山ワークショッ
プ: 9時~12時, 13時~16時

喫茶コーナー: 9時30分~16時

岡山理科大学 ホネホネ鑑定団: 9時~16時

缶バッジ作り: 10時~15時30分

遊ぼう!みんなの動物ラボ: 9時~16時

手作り教室(がりがりトンボ): 10時~12時

手作り教室(ティラノサウルスをつくろう): 14時~
16時

折り紙コーナー: 9時30分~16時

手羽先の標本作り: 9時30分~, 13時~, 14時~

14 出版物

[パオちゃん's EYE]

No.1 「学芸員のつぶやきをお楽しみに」狩山俊悟(5月)

No.2 「自然観察会へ行こう!」江田伸司(6月)

No.3 「博物館最古のチョウ標本」奥島雄一(6月)

No.4 「第4展示室の自由展示コーナー」狩山俊悟(7月)

No.5 「アンモナイト」武智泰史(8月)

No.6 「恐鳥現る!」江田伸司(9月)

No.7 「黒いモンシロチョウ」奥島雄一(10月)

No.8 「博物館の新たな情報発信ツール」狩山俊悟(11月)

No.9 「三葉虫(さんようちゅう)」武智泰史(12月)

No.10 「特別展の企画」江田伸司(1月)

No.11 「新種の標本」奥島雄一(2月)

No.12 「倉敷みらい公園で植物観察」狩山俊悟(3月)

15 レファレンス

質問、同定依頼、研究協力、原稿校閲、マスコミ取材等への対応
地学74件、植物305件、昆虫391件、動物194件（計964件）

16 ガイダンス

教育普及担当職員による受付付近での館内案内
幼保、認定こども園14、小学校61、高校1、支援学校4、公民館等2（計82件）

17 博物館実習生等の受け入れ

(1) 博物館実習

総合分野：8月15～20日 綾香咲希（岡山大学）、
林扶充子（宮崎大学）、宮井里紀（岡山大学）

(2) 博物館見学実習（当館職員が対応したもの）

5月27日	くらしき作陽大学	8名
7月1日	岡山理科大学	34名
11月18日	岡山大学文学部	36名
2月28日	福山市立大学	60名

(3) インターンシップ

植物分野：川添初香（岡山大学）9月5～30日
（10日間）。

(4) 小中高校生の実習

[職場体験]

5月16日～18日	倉敷市立庄中学校	4名
5月23日～26日	岡山県立岡山操山中学校	1名
7月4日～7日	倉敷市立水島中学校	1名
7月4日～6日	倉敷市立真備東中学校	2名
9月6日～8日	倉敷市立新田中学校	4名
9月12日～14日	倉敷市立東陽中学校	3名
10月11日～13日	倉敷市立東中学校	1名
10月24日～27日	倉敷市立福田南中学校	1名
10月17日～20日	早島町立早島中学校	3名
11月8日～10日	倉敷市立倉敷第一中学校	1名
11月7日～10日	倉敷市立北中学校	2名
11月14日～16日	倉敷市立南中学校	2名
11月20日～21日	倉敷市立西中学校	3名
2月8、9、14日	岡山県立倉敷天城中学校	3名

18 講師派遣（「出前講座」含む）

(1) 狩山俊悟：植物担当（18回、約608（約114）名）

4月4日 「市民登山学校4月定例講座『高山植物について』」、高松市創造都市推進局文化、観光、スポーツ部スポーツ振興課、約50(0)名。

4月23日 「自然観察会『重井薬用植物園の春』」、倉敷市立自然史博物館友の会、55(約25)名。

5月4日 「新緑ウォーク in 草間台」、草間台エコミュージアム推進協議会、約50(約10)名。

5月21日 「自然観察会『道後山バスツアー』」、倉敷市立自然史博物館友の会、31(約6)名。

6月14日 「出前講座／倉敷市立自然史博物館について（博物館資料保存論）」、倉敷芸術科学大学、40(0)名。

6月24～25日 「宿泊観察会『初夏の加茂に泊まろう！』」、倉敷市立自然史博物館友の会、21(約10)名。

7月1日 「博物館見学実習」、岡山理科大学、34(0)名。

7月12日 「出前講座／身近な野生植物の観察とお話」、倉敷市立短期大学、53(0)名。

7月15日 「ミュージアムグッズ発売記念イベント『NARIWA FLORA with D』」、高梁市成羽美術館、約50(約25)名。

7月16日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話（鷺羽山植物観察会）」、鷺羽山の景観を考える会、20(0)名。

8月19日 「成羽化石産地見学会（採集体験）」、高梁市成羽美術館、約30(約15)名。

9月10日 「ワークショップ『片上の植物の観察、標本づくり！』」、備前市歴史民俗資料館、約20(約10)名。

9月30日 「自然観察会『第22回シダの世界』」、倉敷市立自然史博物館友の会、22(約5)名。

10月1日 「松島の植物」、鷺羽山パークボランティアの会、約15(0)名。

11月14日 「出前講座／身近な野生植物の観察やお話」、清心女子高等学校、26(0)名。

1月28日 「自然観察会『再訪、北木島の自然』」、倉敷市立自然史博物館友の会、28(約8)名。

2月20日 「職業名に学ぶ会」、倉敷市立西中学校、約40(約40)名。

3月6日 「高齢化社会と資料保全の研究会『標本救済ネットワークの取り組みについて』」、大阪市立自然史博物館、23(0)名。

(2) 奥島雄一：昆虫担当（9回、303(193)名）

8月8日 「見てみよう！さわってみよう！昆虫の仲間♪」水島公民館 17(15)名

10月5日 「どこでも昆虫採集」倉敷市立粒江小学校3年生 100(95)名。

10月7日 「どこでも昆虫採集」ながおキッズ児童クラブ 35(30)名。

10月18日 「どこでも昆虫採集」倉敷市立万寿東幼稚園 53(48)名。

11月10日 「平成29年度生物教育研究会」岡山県高等学校教育研究会理科部会生物分科会 21(0)名。

11月18日 名文系博物館実習 岡山大学文学部 36(0)名。

11月19日 平成29年度鷺羽山地区パークボランティア研修会「身近にいる危険な昆虫」中国四国地方環境事務所岡山自然保護管事務所 10(0)名。

2月20日 「標本づくり」吉備高原のびのび小学校 8(5)名。

3月6日 研究会「高齢化社会と資料保全」大阪市

立自然史博物館 23(0)名.

(3) 江田伸司:動物担当(2回,38(10)名)

4月2日 暮らしき市民講座「季節のバードウォッチング」 倉敷市立玉島公民館 18(10)名.

11月29日 ノートルダム清心女子高等学校 SSH 20(0)名.

19 マスコミ報道(館名,氏名公表分のみ)

(1) 倉敷市立自然史博物館(29件)

4月12日放映 ゆめネット,「自然観察会「おかやま自然探訪」,倉敷市立自然史博物館,岡山天文博物館」.

4月18日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版),「目指せ昆虫博士,倉敷市立自然史博物館,「探検隊」員を募集」.

5月22日以降放映 NHKテレビ(ニュース,特集),「岡山のホタル」.

6月23日発行 山陽新聞(全県版),「水島港でヒアリ調査,県小型10匹採取,鑑定へ」.

6月25日発行 山陽新聞(さん太タイムズ),「チョウ標本2万点来月から昆虫展,倉敷,自然史博物館」.

6月25日発行 タウン情報おかやま.

6月27日放送 山陽放送ラジオ,「あも〜れ!マツタリーノ」,「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」.(神田佐奈恵)

7月1日発行 月刊むし,「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」.

7月21日放送 山陽放送ラジオ,「カモナ,マイRadio!」,「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」.(神田佐奈恵)

7月28日発行 山陽新聞(全県版),「ヒアリ実物知って,倉敷市立自然史博物館,標本を無料公開」.

7月30日発行 山陽新聞,「滴一滴」,(「岡山県の外来生物」).

7月30日発行 山陽新聞,「備前の代表的な植物30種類紹介,備前市歴史民俗資料館で企画展」.

8月1日放送 NHK岡山放送局,ローカルニュース「備前の代表的な植物30種類紹介,備前市歴史民俗資料館」.

8月4日発行 山陽新聞(全県版),「圧巻世界のチョウ,西日本最大級,標本1700種2.9万点,倉敷で企画展」.

8月10日放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTワイド,KCTニュース」,「「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」入場者数1万名突破」.

8月20日放映 倉敷ケーブルテレビ,「KCTワイド,KCTニュース」,「自然の標本なんでも相談会」.

8月23日放送 FM岡山,「Fresh Morning OKAYAMA」,「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」.

8月23日放送 FM岡山,「TWILIGHT PAVEMENT」,「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」.

8月27日発行 岡山民報,「生き物調べ,倉敷みらい公園」.

8月30日放映 OHKテレビ,ニュース,「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」.

8月31日放映 山陽放送テレビ,イブニングニュース,「夏休み最後までにぎわう,“チョウきれいチョーたのしい”」.

9月9日発行 山陽新聞(おかくらプラス),「まちナビ,「チョウきれい!チョーたのしい!昆虫展」フィナーレ,セレモニー」.

9月12日放送 山陽放送ラジオ,「リンだとRiN太の土曜番長」,「鳴く虫サロン」.(鈴木佳織)

9月19日発行 山陽新聞,「『ガ』大量発生でクリ拾い中止,世羅の観光農園,初事態に落胆」.

10月4日放映 KSB瀬戸内海放送,「KSBスーパーJチャンネル」,「秋を彩る 草むらの音楽家たち」.

10月24日発行 山陽新聞(倉敷,総社圏版),「スナアカネ県内初採集,倉敷工高,角南さん,玉島の草地で雄2匹」.

12月28日発行 山陽新聞,「2017年さんデジアクセスランキング」,「3岡山で謎のカマキリ発見 倉敷の自然史博物館で展示」.

12月13日放送 瀬戸内海放送,あいつ今何してる?「日本全国名門高校の先生の記憶に残る天才&奇才卒業生の今を徹底調査! 土畑重名君」.

2月10日放送 倉敷ケーブルテレビ,KCTワイド「自然観察会『倉敷みらい公園の生き物しらべ2018年冬』」.

(2) 武智泰史:地学担当(6件)

4月14日発行 山陽新聞(倉敷,総社圏版),「倉敷市立自然史博物館 あすから地学標本展 世界初発見の鉱物も公開」.

5月11日放送 RSK,きょうのラジまる,「特別陳列草地功地学標本コレクション展について」.

5月11日放映 たまテレ,「特別陳列 草地功地学標本コレクション展について」.

5月19日放送 エフエム暮らしき,週間暮らしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「5~6月の催し物について」.

9月15日放送 エフエム暮らしき,週間暮らしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「9~11月の催し物について」.

11月17日放送 エフエム暮らしき,週間暮らしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「12月の催し物について」.

(3) 狩山俊悟:植物担当(9件)

5月21日発行 山陽新聞,「自然の面白さ伝え400号,地域の動植物,鉱物紹介,倉敷市立自然史博物館広報誌,今月から一新」.

5月28日発行 山陽新聞。「旬の山菜安全に、間違いやすい植物、匂いや色で見分けて、専門家に聞く採取注意点」。

6月16日放送 エフエムくらしき、週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「倉敷市立自然史博物館の収集保管事業について」。

6月30日発行 山陽新聞。「コンニャクに果実がついた」。

10月20日放送 エフエムくらしき、週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「2017年の山行と博物館まつり」。

11月1日放送 山陽放送ラジオ、「第17回『11月3日は自然史博物館まつり』について」。

11月2日発行 山陽新聞。「昆虫、化石楽しく学ぼう、ハチの巣解体や発掘体験、あす倉敷自然史博物館まつり」。

12月2日発行 山陽新聞。「絶滅危惧種も間近に、新着資料130点展示、倉敷市立自然史博物館」。

2月16日放送 エフエムくらしき、週間くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「倉敷みらい公園の植物」。

(4) 奥島雄一：昆虫担当(40件)

4月5日以降放映 たまテレ、「日本最大のシロアリ化石の発見」。

4月21日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「日本最大のシロアリ化石の発見」、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展予告」。

4月26日以降発行 読売新聞、高梁川のトンボ。

5月29日放送 レディオBINGO、「おはようときめきタイム、すてきにティータイム、【興味津々!!】」、「6月4日～むしの日にちなんで～、魅力的な虫の世界」。

6月18日以降放映、たまテレ、「もう夏だ！昆虫採集」。

6月26日放送 山陽放送ラジオ、「朝耳らじお」、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」。

7月11日以降放映 たまテレ、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」。

7月11日発行 山陽新聞(全県版)、「南方系昆虫体液に毒性、ヒラズゲンセイ注意、岡山、津山で生息報告例」。

7月21日放送 エフエムくらしき、「ナウマンの小部屋」、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」。

8月2日放送 山陽放送ラジオ、「県民のみなさんへ」、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」。

8月3日放送 FMゆめウェーブ、「ひるどきインフォメーション」、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」。

8月8日放映 テレビせとうち、ニュース、「ヒアリ展示」。

8月10日発行 山陽新聞(社会)、「水島港でヒアリ200匹、中四国初、女王2匹も」。

8月10日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTワイド、KCTニュース」、「ヒアリの見分け方、対処法は」。

8月12日発行 リビングおかやま、「教えて！ヒアリでどうなる？身近な昆虫にも目を向けてみよう！」。

8月12日発行 リビングくらしき、「教えて！ヒアリでどうなる？身近な昆虫にも目を向けてみよう！」、「この時期、注意！危険な昆虫たち」。

8月12日放送 山陽放送ラジオ、「リンだとRiN太の土曜番長」、「ヒアリについて」、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」。

8月13日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版)、「世界のチョウ華麗な美、倉敷で西日本最大級の特別展、1700種、2万9000点標本公開、激レア10種特別陳列」。

8月16日放映 OHKテレビ、ニュース、「水島港でヒアリ発見」。

8月16日以降放映 たまテレ、「水島港でヒアリ発見」。

8月25日発行 山陽新聞(倉敷都市圏版)、「マダニ、スズメバチ・・・来月末まで活動期、身近な毒虫にも注意を、倉敷市立自然史博物館 奥島学芸員に聞く、正しい知識身に付けて」。

8月27日発行 岡山民報、「どうするヒアリ、水島港で見つかる」。

9月7日放映 瀬戸内海放送、「KSBスーパーJチャンネル」、「多種多様なチョウの標本を展示」。

9月8日発行 環境(岡山県環境保全事業団)、「その1匹の“外来種”が生態系を壊していく」。

9月14日発行 山陽新聞(おかくらプラス)、「倉敷、自然史博物館秋の風物詩、「鳴く虫サロン」で存続、16日から展示する虫を公募」。

9月15日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTワイド、KCTニュース」、「倉敷市立自然史博物館、『鳴く虫サロン』明日から開催」。

9月21日放映 テレビ朝日、テレ朝ニュース、「「ガ」の大発生で収穫中止 秋の味覚が壊滅状態」(クスサンについて)。

10月5日発行 山陽新聞(全県版)、「愛好家が台湾で採集、新種の甲虫と判明、倉敷、自然史博物館研究、標本きょうから公開」。

10月28日発行 山陽新聞(全県版)、「謎のカマキリ発見、県内初、倉敷で標本展示」。

12月8日放送 NHKラジオ(岡山)、ニュース、「「雌雄モザイク」の蛾、倉敷の女子高校生が発見」。

12月8日放送 NHKテレビ(岡山)、ニュース、「「雌雄モザイク」の蛾、倉敷の女子高校生が発見」。

12月13日発行 朝日新聞(岡山)、「左半分オス 右半分メス、希少なガ 女子高生発見、岡山理大付3年 安達由莉さん」。

1月4日発行 山陽新聞(全県版)、「希少雌雄型ウスタビガ、理大付高3年安達さん発見、倉敷市立自然史博物館、月末まで標本展示」。

1月18日発行 読売新聞(岡山), 「雌雄型だ!」, 女子高生が発見, 岡山理大付3年 安達さん ウスタビガ採集, 倉敷で展示, 昆虫好きの快挙 学芸員も驚き.

1月19日放送 エフエムくらしき, 「ナウマンの小部屋」, 「高校生がウスタビガの雌雄型を発見」.

1月28日発行 山陽新聞(おかくらプラス), 「倉敷, 「しぜんしくらしき賞」作品展, 大名顔負け標本、写真, 子どもたちの力作ずらり」.

3月4日発行 山陽新聞(社会), 「キリギリス“奇跡”の越冬, 岡山, 早島 林さん飼育」.

3月16日放送 エフエムくらしき, 「ナウマンの小部屋」, 「むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究発表会」, 「新着資料展—富山哲夫チョウ類コレクション展」.

3月17日発行 山陽新聞(おかくらプラス), 「まちナビ/むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究発表会」.

3月19日放映 NHK Eテレ, 「テストの花道ニューベンゼミ」, 「話題のニュースを徹底取材」, 「世紀の大発見! 虫好きのJK“が”! ?」.

3月30日発行 「はこわっちレポート2017 自然科学系ミュージアムの子どもワークショップ実態調査と名材育成」 (大阪自然史センター).

(5) 江田伸司: 動物担当 (3件)

8月18日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋) 「夏の企画展 ティラノが成羽にやってきた! 化石は太古の生き物図鑑について」.

12月15日放送 エフエムくらしき, 週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋) 「カワセミについて」.

20 学校用標本の貸出

岩石標本セット 1件

化石標本セット 1件

21 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 824名(430組) ※平成30年3月31日現在
個人264名, 家族552名(158組), 賛助8名(8組)

(2) 役員 (*は幹事兼務)

[会長] 榎本敬. [副会長] 天本隆士, 古谷太一, 榎原久美子, 武田満子, 中田太海, 溝手啓子, 安原信一郎, 山崎法子. [評議員] 青野孝昭, 安達由莉*, 天本隆士, 磯野裕昭*, 伊藤邦夫, 稲神邦代*, 入江和喜*, 植松志帆*, 植松蒼*, 江田伸司*, 榎本敬*, 大島宏美*, 岡本泰典*, 奥島雄一*, 小澤佑二, 片岡法子*, 片岡博行*, 片山久*, 狩山俊悟*, 木下延子*, 木村浩子*, 國忠高広*, 古谷太一*, 小橋理絵子*, 榎原久美子*, 坂本明弘*, 坂本憲治*, 笹田富夫, 柴田加奈*, 島岡浩恵*, 白神加奈子*, 末長晴輝*, 裾分由美子*, 武田満子*, 武田寛生*, 武田雅生*, 武智泰史*, 中田太海, 中塚栄一*, 野島淑子*, 橋本恵子*, 橋本響*, 橋本真由子*,

原田愛*, 東伸彦, 廣瀬正明, 藤野睦子*, 松村真佐子*, 溝手啓子*, 安原信一郎, 山崎法子*, 雪江祥貴*.

[会計監査] 守安敦, 吉岡勉.

(3) 自然観察会 (*は博物館と共催, カッコ内は中学生以下) 友の会追加分のみ計492(135)名

4月8日(土)第518回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2017年春」* 63(26)名

4月9日(日)第519回「おかやま自然探訪53」* 53(16)名

4月23日(日)第520回「重井薬用植物園の春」 55(6)名

5月14日(日)第521回「おかやま自然探訪54」* 47(8)名

5月21日(日)第522回「道後山バスツアー」 31(6)名

5月27日(土)第523回「スゲ観察会」 24(0)名

6月3日(土)第524回「中国山地の植物観察1〜駒の尾山〜」* 26(6)名

6月17日(土)第525回「ナゴヤダルマガエル観察会19」* 25(6)名

6月18日(日)第526回「もう夏だ! 昆虫採集」* 113(55)名

6月24~25日(土, 日)第527回「宿泊観察会 初夏の加茂に泊まろう」 21(2)名

7月1日(土)第528回「ヨタカをさがしてみよう」 17(1)名

7月15日(土)第529回「ブッポウソウ巣立ち観察会」(共: 倉敷市環境学習センター) * 30(0)名

7月22日(土)第530回「干潟の生物の観察会」 46(30)名

8月12日(土)第531回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2017年夏&セミのぬけがら調査」* 86(44)名

9月17日(日)第532回「ミズアオイ観察会」 中止

9月23日(土)第533回「ウミホタル観察会」 52(23)名

9月30日(土)第534回「第22回シダの世界」 22(5)名

10月7日(土)第535回「津黒のきのこ観察会」(共: 津黒いきものふれあいの里, 岡山きのこ研究会) 19(9)名

10月22日(日)第536回「おかやま自然探訪55」* 7(0)名

11月11日(土)第537回「倉敷みらい公園の生き物しらべ2017年秋」* 74(28)名

11月26日(日)第538回「おかやま自然探訪56」* 42(3)名

12月3日(日)第539回「みんなで溜川ウォッチング」(共: 倉敷市環境学習センター) 14(0)名

12月10日(日)第540回「ヤマセミをさがしてみよう」(共: 倉敷市環境学習センター) * 27(2)名

1月28日(日)第541回「再訪, 北木島の自然」 28(8)名

2月4日(日)第542回「コケ観察会」(共: 岡山コケの会) 55(5)名

- 2月10日(土)第543回「倉敷みらい公園の生き物しらべ
2018年冬」 32(11)名
- 3月4日(日)第544回「倉敷市の鳥カワセミをさがそ
う」(共:倉敷市環境学習センター) 35(10)名
- 3月25日(日)第545回「ミズアオイの種まき会」(共:
倉敷市) 58(20)名
- (4) 特別展(博物館と共催)
7月1日～9月10日 第26回特別展「チョウきれい!
チョーたのしい!昆虫展」
- (5) 特別陳列(博物館と共催)
4月1日～4月2日「第24回しぜんしくらしき賞作品
展」
1月14日～3月31日「第25回しぜんしくらしき賞作品
展」
- (6) 博物館講座(博物館と共催)
7月30日「植物の採集方法と標本作り」
12月16日「色鉛筆で動物画を描こう」
1月14日「学芸員研究紹介 地学」
1月28日「ガーネット(ざくろ石)の文鎮作り」
2月18日「学芸員研究紹介 植物」
3月10日「学芸員研究紹介 動物」
3月18日「むしむし探検隊&昆虫担当学芸員研究紹
介」
- (7) 標本の名前を調べる会(博物館と共催)
8月20日
- (8) むしむし探検隊(博物館と共催)
参加者延べ206名
- (9) 自然素材を使った手作り教室
毎月第2日曜日 学習コーナー(博物館と共催)延
べ374名
12月17日 お飾り作り 講義室 65名
- (10) 特別企画ワークショップ(博物館と共催)
5月28日, 11月19日, 1月21日.
- (11) グループ活動
毎週金曜日 溜川ウォッチンググループ(共:第3
金曜日のみ倉敷市環境学習センター) 延べ504名
毎月1回 シダグループ 延べ97名
毎月1回 ご近所バードウォッチンググループ 延
べ92名
- 毎月1回 倉敷みらい公園バードウォッチング(共:
倉敷市環境学習センター) 延べ97名
随時 岡山県植物誌研究会 登録者37名
随時 脊椎動物グループ 延べ156名
随時 昆虫グループ(展示+標本整理) 延べ255
名
- (12) 第25回「しぜんしくらしき賞」(博物館と共催)
10月1日～11月5日 募集期間 応募総数34点
11月16日 審査会
1月14日(表彰式)～4月1日 作品展開催
- (13) 平成30年度会員証デザインコンテスト
10月7日～11月30日 募集期間(20名, 33点)
12月9日 審査(採用:「卵を守るお父さん」
山田勝)
- (14) 自然史博物館まつり(博物館と共催)
11月3日.
- (15) 会報「しぜんしくらしき」発行
6月1日 101号, 9月1日 102号, 12月1日
103号, 3月1日 104号.
- (16) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」
の発行
4月8日 304号, 5月13日 305号, 6月10日 306
号, 7月8日 307号, 8月12日 308号, 9月9日
309号, 10月14日 310号, 11月11日 311号, 12月9
日 312号, 1月13日 313号, 2月10日 314号, 3
月10日 315号.
- (17) 総会の開催
4月23日.
- (18) 幹事会の開催
4月8日, 5月13日, 6月10日, 7月8日, 8月
12日, 9月9日, 10月14日, 11月11日, 12月9日,
1月13日, 2月10日, 3月10日.
- (19) あっせん
図書, 自然観察用品, 昆虫器具等.
- (20) その他
ホームページ, メーリングリスト, Facebookの
管理, 運営

V. 庶務

1 沿革

昭和53年8月18日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会（13名）設置

昭和55年3月13日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より、倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで、積極的に取り組む必要がある」との答申が出される

昭和56年2月3日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会（13名）設置

昭和57年3月2日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが、倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定

昭和57年10月1日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者（4名）に委託

昭和57年10月19日 自然史博物館基本構想確定

昭和57年11月27日 自然史博物館展示構想確定

昭和58年11月3日 倉敷市立自然史博物館開館

平成4年1月26日 倉敷市立自然史博物館友の会発足

平成6年3月27日 開館10周年記念建物1階増設並びに改装工事完成

平成9年2月4日 博物館法第12条の規定による登録博物館

平成15年3月21日 第2展示室展示更新完成

平成16年3月20日 第3展示室展示更新完成

平成17年3月20日 第4展示室展示更新完成

平成18年3月21日 第1展示室展示更新完成

平成22年4月1日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し、倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

2 各室現有面積（単位：㎡）現有面積合計 3,263.08

(1) 展示室 (969.48)	
エントランスホール	118.16
常設展示室（第1展示室）	200.09
常設展示室（第2展示室）	256.83
常設展示室（第3展示室）	169.28
常設展示室（第4展示室）	155.16
特別展示室	69.96
(2) 調査研究 (184.24)	
研究室	115.48
工作室	45.56
写真室	11.85
暗室	11.35
(3) 収蔵庫 (488.87)	
第1収蔵庫（動物、植物）	169.83
第2収蔵庫（地学）	62.25
液浸標本収蔵庫	18.69
図書文献室	47.30
大高仮収蔵庫（敷地面積708.10）	190.80

仮収蔵スペース（市内小学校教室2部屋，市内中学校教室2部屋）

(4) 教育普及 (157.98)	
学習コーナー	47.71
ミニ水族館	14.37
講義室	95.90
(5) 庶務 (182.11)	
連絡室	35.88
事務室	57.59
会議室	55.45
倉庫	33.19
(6) 機械設備 (281.59)	
機械室（地階）	180.86
機械室（収蔵庫用空調設備）	19.86
機械室（屋階）	53.66
ボイラー室	20.25
エレベーター機械室	6.96
(7) その他 (998.81)	
車庫	206.92
便所、廊下等	791.89

3 組織

(1) 職員（平成29年4月1日現在）	
館長 小野行弘（総括）	
主幹・学芸員 江田伸司（動物）	
主幹・学芸員 狩山俊悟（植物）	
主任・学芸員 奥島雄一（昆虫）	
主任・学芸員 武智泰史（地学）	
副主任 石井陽子（庶務，経理，教育普及）	
嘱託 堀幸子（受付，庶務）	
嘱託 神田佐奈恵（昆虫学芸補助）	
嘱託 辻弘美（植物学芸補助）	
嘱託 藤原由佳（受付，広報，教育普及）	
嘱託 小田敦子（受付，教育普及，広報）	
臨時 鈴木那加（受付，土日）	
臨時 藤林真（受付，土日）	
臨時 上赤菜都美（植物学芸補助，土日）	
臨時 佐藤未紗（昆虫学芸補助，土日）	
(2) 職員の異動	
4月30日退任 嘱託 藤原由佳	
5月1日着任 派遣 森田佳代子	
7月31日退任 派遣 森田佳代子	
8月1日着任 嘱託 鈴木佳織	
2月28日退任 臨時 藤林真	
3月10日着任 臨時 野田昌裕	
3月10日着任 臨時 平松頼	

3月10日着任 臨時 山根百佳
 3月31日退任 主幹 狩山俊悟
 3月31日退任 嘱託 堀幸子
 3月31日退任 臨時 上赤菜都美
 3月31日退任 臨時 佐藤未紗

(3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員

[任期：～平成29年11月30日]

榎本敬 倉敷市立自然史博物館友の会会長
 大守秀行 倉敷市議会文教委員会委員
 鴨井香織 倉敷市立自然史博物館友の会会員
 河邊誠一郎 倉敷芸術科学大学教授
 小橋理絵子 倉敷市立自然史博物館友の会評議員
 小林祥一 岡山理科大学教授
 島岡浩恵 倉敷市立自然史博物館友の会評議員
 地職恵 岡山県自然保護センター自然保護指導員
 堀江明香 元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師
 三宅誠治 日本鱗翅学会会員

[任期：平成29年12月1日～平成31年11月30日]

鴨井香織 倉敷市立自然史博物館友の会会員
 小橋理絵子 倉敷市立自然史博物館友の会評議員
 小林祥一 岡山理科大学教授
 西田恵介 倉敷市立下津井中学校長
 島岡浩恵 倉敷市立自然史博物館友の会評議員
 高木盛雄 倉敷市立赤崎小学校長
 田口明子 倉敷市議会文教委員会委員
 地職恵 岡山県自然保護センター自然保護指導員
 堀江明香 元大阪市立大学大学院理学研究科特任講師
 三宅誠治 日本鱗翅学会会員

(敬称略，五十音順)

(4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催

7月14日。

4 委員，役員委嘱

(1) 小野行弘：館長

29年4月23日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

29年4月23日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会副会長」 倉敷市立自然史博物館友の会。

29年4月1日～ 「倉敷市環境審議会委員」 倉敷市。

29年4月1日～ 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県。

(2) 武智泰史：地学担当

28年4月24日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

28年4月24日～ 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

30年2月5日～32年2月 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

(3) 狩山俊悟：植物担当

継続～3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県環境文化部自然環境課。

継続～3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会植物部会副部長」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会。

27年7月1日～30年6月30日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

28年2月8日～30年2月4日，2月5日～32年2月 「西日本自然史系博物館ネットワーク理事」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

28年2月8日～30年2月4日，2月5日～32年2月 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク。

28年4月24日～30年4月21日 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

28年4月24日～30年4月21日 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

28年7月16日～31年7月15日 「岡山県指定希少野生動植物保護巡視員（ミズアオイ）」 岡山県環境文化部自然環境課。

29年4月1日～31年3月31日 「備前市歴史文化基本構想策定委員」 備前市教育委員会。

29年4月1日～31年3月31日 「備前市文化財保護審議会委員」 備前市教育委員会。

30年2月26日～3月1日 「非常勤講師（森林資源学）」 福山市立大学。

(4) 奥島雄一：昆虫担当

平成28年4月24日～平成30年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成28年4月24日～平成30年4月の総会 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

平成29年1月1日～平成30年12月31日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会。

平成29年1月1日～平成30年12月31日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会。

平成29年4月1日～平成30年3月31日 「日本昆虫学会中国支部岡山県委員」 日本昆虫学会中国支部。

平成28年5月14日～平成31年5月ころの改選まで 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会。

平成28年4月1日～平成30年3月31日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（昆虫部会副部長）」 岡山県野生生物調査検討会。

平成29年4月1日～平成32年3月31日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課。

平成28年8月1日～平成30年7月31日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課.

平成29年9月22日～平成31年3月31日 「岡山県ヒアリア対策に関する有識者会議委員」 岡山県環境文化部自然環境課.

平成28年2月8日～平成30年2月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク

平成28年8月20日～平成29年3月31日 「柳井原地区川づくり検討委員会(仮称)委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所.

平成29年6月16日～平成30年3月31日 「小田川柳井原地区川づくり検討協議会委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所.

平成29年8月2日～平成30年3月31日 「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所.

平成27年7月1日～平成30年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

平成29年4月1日～平成32年3月31日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人岡山県環境保全事業団.

平成29年12月21日～平成30年1月31日 「岡山県自然保護センター研究報告第25号編集委員」 岡山県自然保護センター.

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会.

継続 「日本昆虫目録コムツキグループ調整担当」 日本昆虫目録編集委員会.

(5) 江田伸司：動物担当

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部.

継続 岡山県野生動物調査検討会運営委員.

28年4月1日～ 岡山県野生動物調査検討会動物部会部会長.

28年4月24日～30年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

28年4月24日～30年4月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

27年7月1日～30年6月30日 「希少野生動物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課.

5 会議等派遣

(1) 小野行弘：館長（3回）

5月18日 「岡山県博物館協議会役員会」 岡山県.

6月29日 「倉敷市環境審議会」 倉敷市.

9月27日 「倉敷市環境審議会」 倉敷市.

(2) 狩山俊悟：植物担当（11回）

5月11日 「平成29年度岡山県野生動物植物調査検討会植物部会（第1回）」, 岡山県野生動物植物調査検討会植物部会.

7月5日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2017年度第1回理事会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク.

7月6日 「平成29年度第1回備前市文化財保護審議会」, 備前市教育委員会.

7月11日 「平成29年度岡山県野生動物植物調査検討会植物部会（第2回）」, 岡山県野生動物植物調査検討会植物部会.

7月28日 「岡山県野生動物植物調査検討会平成29年度第1回運営委員会」, 岡山県野生動物植物調査検討会.

12月4日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2017年度第2回理事会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク.

12月19日 「平成29年度岡山県野生動物植物調査検討会植物部会（第3回）」, 岡山県野生動物植物調査検討会植物部会.

2月5日 「西日本自然史系博物館ネットワーク2018年総会」, 西日本自然史系博物館ネットワーク.

2月9日 「岡山県野生動物植物調査検討会平成29年度第2回運営委員会」, 岡山県野生動物植物調査検討会.

3月19日 「第10回備前市歴史文化基本構想策定委員会」, 備前市教育委員会.

12月11日 「平成29年度第2回備前市文化財保護審議会(現地視察)」, 備前市教育委員会.

(3) 奥島雄一：昆虫担当（8回）

7月21日 「平成29年度第1回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団.

7月28日 「岡山県野生動物植物調査検討会第1回運営委員会」 岡山県野生動物植物調査検討会.

9月29日 「第1回岡山県ヒアリア対策に関する有識者会議」 岡山県環境文化部自然環境課.

10月5日 「平成29年度第3回岡山県環境影響評価技術審査委員会」 岡山県環境影響評価技術審査委員会.

1月31日 「平成29年度岡山県野生動物植物調査検討会昆虫部会（第4回）」 岡山県野生動物植物調査検討会.

2月9日 「岡山県野生動物植物調査検討会第2回運営委員会」 岡山県野生動物植物調査検討会.

2月21日 「平成29年度第2回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団.

3月27日 「第1回小田川合流点付替え事業環境評価フォローアップ委員会」 国土交通省岡山河川事務所.

(4) 江田伸司：動物担当（7回）

4月14日 「岡山県野生動物植物調査検討会平成29年度第1回動物部会」 岡山県野生動物植物調査検討会動物部会.

5月23日 「岡山県野生動植物調査検討会平成29年度第2回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

7月28日 「岡山県野生動植物調査検討会平成29年度第1回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

9月26日 「岡山県野生動植物調査検討会平成29年度第3回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

1月19日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第4回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会.

2月9日 「岡山県野生動植物調査検討会平成28年度第3回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会.

6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「毎月のお知らせ」「パオちゃん通信」「パワフルキッズ」「友の会ニュース」「FMくらしき」等でPRを行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。

メールマガジン登録者数：986名（平成30年3月31日現在）。
メールマガジン発行回数：35回（平成29年度）。

Twitterツイート数：112ツイート

（平成29年10月24日開始，平成30年3月31日現在）。

7 職員の派遣研修参加

7月12～14日 平成29年度博物館長研修（国立教育政策研究所），小野行弘参加，文部科学省。

9月15～17日 日本鳥学会2017年度大会（筑波大学），江田伸司参加，日本鳥学会。

12月13～15日 平成29年度博物館学芸員専門講座（国立教育政策研究所），奥島雄一参加，文部科学省。

2月15～16日 「全国科学博物館協議会総会第25回研究発表大会」（福岡市科学館），小野行弘参加，全国科学博物館協議会。

3月8～10日 日本植物分類学会第17回大会（金沢市），狩山俊悟参加，日本植物分類学会。

8 視察来館

11月15日 石垣市 7名

2月17日 大阪自然史センター 1名

9 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ743名

高梁川流域パスポート利用者数 延べ495名

(2) 一般対象

5月5日 こどもの日 342名

11月3日 自然史博物館まつり 8,395名

10 予算・決算（単位：円）

歳入

科目名称	予算額	決算額
観覧料	1,704,000	1,753,530
内、特別展	1,074,000	1,080,520
内、常設展	630,000	673,010
書籍売払雑入	292,000	271,797
施設使用料	0	0
観光休憩所水道料	132,000	139,404
拾得金返還雑入	0	0
諸証明手数料	0	0
労働保険料精算雑入	0	26,447
合計	2,128,000	2,191,178

歳出

科目名称	予算現額	決算額
報酬	7,755,121	7,610,272
内、協議会委員報酬	71,000	49,700
内、非常勤職員等報酬	7,684,121	7,560,572
給料	26,250,000	26,197,500
職員手当等	14,824,000	14,787,221
共済費	10,091,000	9,951,993
内、報酬分	1,339,000	1,219,958
内、職員分	8,752,000	8,732,035
賃金	680,800	680,760
報償費	342,000	341,990
旅費	112,220	111,170
需用費	9,631,536	9,552,457
内、消耗品費	1,357,416	1,357,275
内、食糧費	14,000	13,849
内、印刷製本費	1,523,760	1,491,540
内、光熱水費	6,167,580	6,121,513
内、修繕料	550,780	550,780
内、飼料費	14,000	13,902
内、医薬材料費	4,000	3,598
役務費	486,000	484,214
内、通信運搬費	319,000	318,002
内、手数料	167,000	166,212
委託料	4,327,903	4,325,601
使用料及び賃借料	141,000	139,170
備品購入費	941,420	910,669
負担金補助及び交付金	67,000	67,000
合計	75,650,000	75,160,017

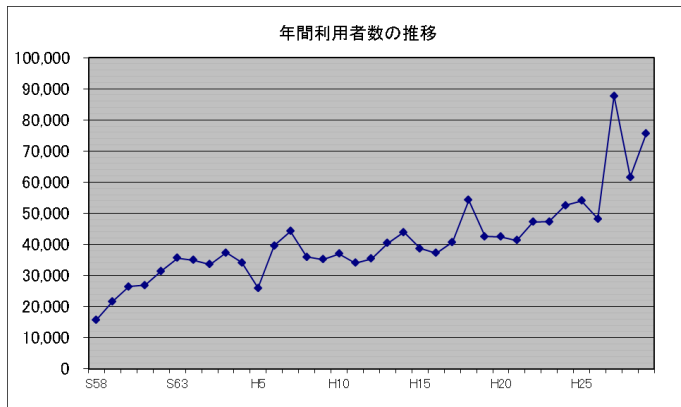
11 年間利用者数

(1) 平成29年度利用者数 (単位：人)

月	開館日数	有 料				有 料 入 館 者 合 計	無 料													無 料 入 館 者 合 計	館 内 利 用 者 (※1)	来 館 者 合 計 (A)	館 外 利 用 者 (B)	利 用 者 合 計 (A+B)	
		通 常		割 引			個 人					団 体													
		一 般	大 学 生	一 般	大 学 生		高 齢 者	障 が い 者	小 学 生	中 学 生	高 校 生	保 育 ・ 幼 稚 園	小 学 生	中 学 生	支 援 学 校	高 校 生	そ の 他	特 別 観 覧	乳 幼 児						
4	26	433	24	1	0	458	100	12	173	15	40	0	272	0	0	0	0	35	196	843	991	2292	192	2484	
5	26	437	63	2	5	507	131	34	267	32	57	4	137	0	40	0	0	227	239	1168	1045	2720	96	2816	
6	25	416	27	0	0	443	104	54	176	30	5	114	139	0	0	0	0	22	170	814	1025	2282	160	2442	
7	26	2836	36	3	84	2959	222	137	1131	99	65	85	19	10	0	0	0	124	1722	3614	1007	7580	7841	15421	
8	27	3423	77	1	5	3506	397	177	2024	171	187	37	0	0	0	10	79	204	1750	5036	927	9469	10884	20353	
9	26	1190	58	19	0	1267	213	74	488	24	12	313	423	0	0	0	22	138	621	2328	1109	4704	1363	6067	
10	26	530	52	22	0	604	134	57	203	20	20	142	1209	18	30	0	8	43	232	2116	1175	3895	57	3952	
11	26	404	28	7	34	473	89	27	374	18	29	58	147	28	0	0	0	68	190	1028	9411	10912	148	11060	
12	23	305	34	1	23	363	73	43	104	65	19	124	50	0	0	18	0	37	118	651	707	1721	46	1767	
1	23	422	23	0	0	445	78	33	111	12	4	153	560	53	0	0	0	32	195	1231	864	2540	53	2593	
2	24	485	29	3	50	567	54	20	213	16	16	833	862	176	16	0	26	54	211	2497	800	3864	87	3951	
3	27	543	49	30	0	622	126	43	225	49	34	112	63	0	31	0	0	52	271	1006	1113	2741	93	2834	
合 計		305	11424	500	89	201	12214	1721	711	5489	551	488	1975	3881	285	117	28	135	1036	5915	22332	20174	54720	21020	75740

- ・特別観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
- ・館内利用者 (※1)：講義室での各種講座、学習コーナーでの手作り教室等参加者
- ・来館者合計 (A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者 (※1)
- ・館外利用者 (B)：自然観察会等参加者、出張展示観覧者数

(2) 年間利用者数の推移 (単位：人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳 (単位：人)

月	個 人									団 体																		
	小 学 生			中 学 生			高 校 生			保 育 ・ 幼 稚 園			小 学 校			中 学 校			支 援 学 校			高 校			そ の 他			
	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	市 内	市 外	計	
4	95	78	173	3	12	15	13	27	40	0	0	0	0	272	272	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	124	79	267	9	14	32	17	21	57	2	2	4	0	137	137	0	0	0	0	40	40	0	0	0	0	0	0	0
6	70	106	176	6	24	30	0	5	5	114	0	114	139	0	139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	525	606	1131	63	36	99	30	35	65	64	21	85	0	19	19	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	984	1040	2024	108	63	171	127	60	187	37	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	35	44	79	
9	230	258	488	19	5	24	1	11	12	313	0	313	0	423	423	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	22	
10	118	85	203	10	10	20	5	15	20	142	0	142	797	412	1209	0	18	18	6	24	30	0	0	0	8	0	8	
11	169	205	374	10	8	18	2	27	29	58	0	58	53	94	147	0	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	68	36	104	50	15	65	5	14	19	124	0	124	0	50	50	0	0	0	0	0	0	12	6	18	0	0	0	
1	65	46	111	9	3	12	1	3	4	153	0	153	560	0	560	53	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	122	91	213	12	4	16	7	9	16	740	93	833	848	14	862	0	176	176	0	16	16	0	0	0	26	0	26	
3	110	115	225	6	43	49	6	28	34	111	1	112	29	34	63	0	0	0	0	31	31	0	0	0	0	0	0	0
計	2680	2745	5489	305	237	551	214	255	488	1858	117	1975	2426	1455	3881	53	232	285	6	111	117	12	16	28	91	44	135	

- ・その他：児童クラブ、子ども会等

○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年9月22日
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- (2) 博物館資料を利用させること。
- (3) 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (4) 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- (6) その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。

- 2 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。
- 3 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。

- 2 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。

- 2 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。
- 3 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 4 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。
- 5 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。
- 6 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、そ

の全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。

- (1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- (2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 酩酊して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- (3) 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- (4) 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認める者
- (5) 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認める者
- (6) その他管理上支障があると認める者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料をき損又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
 - (1) 学校教育及び社会教育の関係者
 - (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - (3) 学識経験を有する者
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任することができる。

(協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。
(昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。

別表中「

展示美術館協議会委員	同 5,000円	同
------------	----------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同 5,000円	同
-------------	----------	---

」を加える。

附 則(昭和62年6月30日条例第43号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年9月30日条例第17号)
(施行期日)

1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成9年3月25日条例第4号)
(施行期日)

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

附 則(平成12年3月24日条例第28号)
この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月24日条例第39号)
この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月16日条例第11号)
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

2 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)
常設展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第5条関係)
特別展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき540円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生		
高校生以下		

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3(第7条関係)
講義室使用料

使用場所 /使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から午前12時まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで	
講義室	432円	648円	1,080円	1時間につき756円

備考

1 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。

2 金額には消費税及び地方消費税を含む。

○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当るときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)

(2) 12月28日から翌年の1月4日まで。

2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したのに対して観覧券を交付するものとする。

2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。

3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。

(1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。

(2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。

(3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。)は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。)は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。

3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。

(1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。

(2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。

(3) 使用する施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。

(4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。

(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント

(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント

(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント

(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除

(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき 心身障害者の場合はその介護人1名を含めて観覧料の全額を免除

(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除

(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除

2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長、副会長を置く。

2 会長、副会長は委員の互選により定める。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

5 会議は会長が招集する。

6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。

7 協議会に専門部会を置くことができる。

8 協議会の庶務は、博物館において行なう。

9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則(昭和62年3月25日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成3年6月25日教委規則第4号)

この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則(平成8年1月11日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月25日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年7月27日教委規則第22号)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則(平成17年12月20日教委規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成18年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(一部抜粋)

昭和42年2月1日
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館 協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]

9時～17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、
年末年始(12月28日～1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

一般:150円(100円)

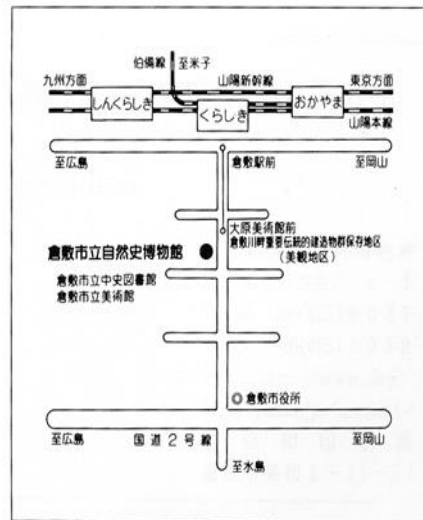
大学生:50円(30円)

高校生以下:無料

- ・かっこ内は20名以上の団体の場合。
- ・65歳以上の方、学齢未満の幼児、心身障がい者とその介護者1名は無料。

[交通案内]

- ・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。
- ・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館報 第27号 (平成29年度)

平成30年7月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話 (086)425-6037

FAX (086)425-6038

E-mail: musnat@city.kurashiki.okayama.jp

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/index.htm>